

厚生労働大臣 殿

国立大学法人三重大学  
学長 伊藤正明

三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
氏 名	国立大学法人三重大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

三重大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地	電話 (059) 232-1111
-------------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

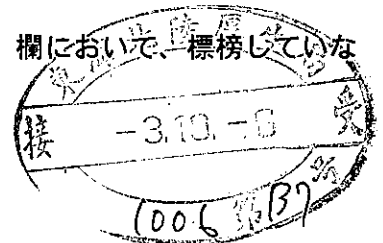
4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 1 呼吸器内科      2 消化器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 3 循環器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 4 腎臓内科 5 神経内科 <input checked="" type="checkbox"/> 6 血液内科      7 内分泌内科      8 代謝内科 9 感染症内科      10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科      11 リウマチ科		
診療実績		
消化器内科：消化器・肝臓内科にて医療を提供している。 神経内科：脳神経内科にて医療を提供している。 内分泌内科、代謝内科：糖尿病・内分泌内科にて医療を提供している。 リウマチ科：リウマチ・膠原病内科にて医療を提供している。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していな



い診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科      2消化器外科      3乳腺外科      4心臓外科 5血管外科      6心臓血管外科      7内分泌外科      8小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科    2小児科    3整形外科    4脳神経外科    5皮膚科    6泌尿器科    7産婦人科 8産科    9婦人科    10眼科    11耳鼻咽喉科    12放射線科    13放射線診断科 14放射線治療科    15麻酔科    16救急科
---

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ (無)
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科    2矯正歯科    3口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 脳神経内科    2 消化器・肝臓内科    3 腫瘍内科    4 糖尿病・内分泌内科    5 緩和ケア科 6 病理診断科    7 移植外科    8 形成外科    9 リウマチ・膠原病内科    10 リハビリテーション科
---

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30床	0床	0床	0床	655床	685床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	485 人	38 人	497.9 人	看 護 補 助 者	43 人	診療エックス線技師	0 人
歯 科 医 師	16 人	2 人	16.9 人	理 学 療 法 士	12 人	臨床検査技師	75 人
薬 剤 師	48 人	3 人	49.9 人	作 業 療 法 士	3 人	衛生検査技師	0 人
保 健 師	1 人	1 人	1.3 人	視 能 訓 練 士	7 人	その他	0 人
助 産 師	48 人	2 人	49.4 人	義 肢 装 具 士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	613 人	99 人	679.6 人	臨 床 工 学 士	25 人	医療社会事業従事者	10 人
准 看 護 師	1 人	3 人	3.0 人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	83 人
歯 科 衛 生 士	3 人	0 人	3.0 人	歯 科 技 工 士	2 人	事 務 職 員	208 人
管 理 栄 養 士	8 人	1 人	8.9 人	診 療 放 射 線 技 師	46 人	そ の 他 の 職 員	1 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	66 人	眼 科 専 門 医	13 人
外 科 専 門 医	61 人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	10 人
精 神 科 専 門 医	5 人	放 射 線 科 専 門 医	34 人
小 児 科 専 門 医	23 人	脳 神 経 外 科 専 門 医	15 人
皮 膚 科 専 門 医	9 人	整 形 外 科 専 門 医	21 人
泌 尿 器 科 専 門 医	10 人	麻 酔 科 専 門 医	7 人
産 婦 人 科 専 門 医	27 人	救 急 科 専 門 医	17 人
		合 計	318 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 伊佐地 秀司 ) 任命年月日 令和元年10月1日

医療安全管理委員会や三重県医師会事故調査委員会の委員として、院内・院外において業務を経験。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	456.3人	5.8人	462.1人
1日当たり平均外来患者数	1,300.2人	81.4人	1,381.6人
1日当たり平均調剤数	入院665.6剤、外来42.3剤		
必要医師数	122.0人		
必要歯科医師数	6.0人		
必要薬剤師数	16人		
必要(准)看護師数	279人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	285.60m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	13床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 374m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 台		病床数	31床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 53m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	423m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遠心機、自動分析装置			
細菌検査室	147m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡、遠心機、安全キャビネット			
病理検査室	236m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡、染色装置			
病理解剖室	32m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電動昇降式解剖台			
研究室	758m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遺伝子解析装置、液体クロマトグラフ、自動洗浄機			
講義室	1617m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	19室	収容定員	1,193人
図書室	759m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室	蔵書数	55,180冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	77.9%	逆紹介率	80.0%
算出根拠	A：紹介患者の数		11,851人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,099人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		897人
	D：初診の患者の数		16,375人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥野 正義	中部電力パワーグリッド株式会社 調査役		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
片山 眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
小池 敦	三重県立看護大学看護学部教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
鈴木 明	浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理室 特任准教授		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
公表の方法 本学ホームページへ掲載。	

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
末梢血単核球移植による血管再生治療	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法	0人
インターフェロン 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	1人
水素ガス吸入療法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡手術用支援機器を用いた腹腔鏡下直腸切除・切断術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 直腸がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いて腹腔鏡下に直腸切除・切断術を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いた場合)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 骨盤臓器脱の治療法として行われる仙骨腔固定術を、より低侵襲な術式として内視鏡手術用支援機器を用いて腹腔鏡下に行う。			
医療技術名	内視鏡手術支援機器を用いた腹腔鏡下腎盂形成手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 腎盂尿管移行部狭窄に対して内視鏡手術用支援機器を用いて腹腔鏡下に狭窄部を切除して腎盂と尿管を再吻合する。			
医療技術名	内視鏡手術用支援機器を用いた臍頭十二指腸切除	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 臍頭部やその周囲に発生した腫瘍に対して内視鏡手術用支援機器を用いて臍頭十二指腸切除を行う。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	45
2	筋萎縮性側索硬化症	15	57	特発性拡張型心筋症	44
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	16
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	8	60	再生不良性貧血	19
6	パーキンソン病	177	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	2	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	48
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	2
11	重症筋無力症	53	66	IgA 腎症	40
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	23
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	54	68	黄色靱帯骨化症	6
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	14	69	後縦靱帯骨化症	44
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	36
17	多系統萎縮症	12	72	下垂体性ADH分泌異常症	25
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	45	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	7
21	ミトコンドリア病	2	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	29	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	22
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	60
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	20	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	48
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	7
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	39
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	32
34	神経線維腫症	22	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	19	90	網膜色素変性症	20
36	表皮水疱症	0	91	パッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	14	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	48
39	中毒性表皮壊死症	2	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	12	95	自己免疫性肝炎	10
41	巨細胞性動脈炎	3	96	クローン病	203
42	結節性多発動脈炎	10	97	潰瘍性大腸炎	310
43	顕微鏡的多発血管炎	7	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	5	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	8	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	3	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	159	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	96	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	119	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	32	107	全身型若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	18	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	11	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	5	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15
113	筋ジストロフィー	9	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	5	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オキシビタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	173	VATER症候群	0
124	皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ベリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アikalディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガスター症候群	1	194	ソス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	2	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	6	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	1
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	4

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	10	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無リポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	36	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	8
224	紫斑病性腎炎	6	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	8	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	2
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	6
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性隣炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	12
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ボルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	44

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	1	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	8
318	シトリン欠損症	1	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0			

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・抗菌薬適正使用支援加算
・歯科外来診療環境体制加算	・患者サポート体制充実加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料	・ハイリスク妊娠管理加算
・救急医療管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・超急性期脳卒中加算	・呼吸ケアチーム加算
・診療録管理体制加算 1	・病棟薬剤業務実施加算 1・2
・医師事務作業補助体制加算 1	・データ提出加算 2
・急性期看護補助体制加算	・入退院支援加算1・3
・看護職員夜間配置加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護補助加算 1	・精神疾患診療体制加算 1・2
・療養環境加算	・地域医療体制確保加算
・重症者等療養環境特別加算	・排尿自立支援加算
・無菌治療室管理加算 1, 2	・救命救急入院料 4
・緩和ケア診療加算	・特定集中治療室管理料 1
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料 1 注 4 早期離床・リハビリテーション加算
・摂食障害入院医療管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料2
・栄養サポートチーム加算	・新生児特定集中治療室管理料 1
・医療安全対策加算 1	・総合周産期特定集中治療室管理料
・感染防止対策加算 1	・小児入院医療管理料 2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・心臓ペースメーカー指導管理料	・網膜再建術
・高度難聴指導管理料	・人工中耳植込術
・糖尿病合併症管理料	・人工内耳植込術、植込骨導補聴器移植術 及び植込型骨導補助器交換術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術 (拡大副鼻腔手術)
・がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・外来緩和ケア管理料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・移植後患者指導管理料	・上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)
・糖尿病透析予防指導管理料	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(MRIによるもの)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術
・婦人科特定疾患治療管理料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除 (腋窩郭清を伴わないもの) 及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・腎代替療法指導管理料	
・外来放射線照射診療料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
・開放型病院共同指導料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、2
・ハイリスク妊産婦共同管理料( )	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がん治療連携計画策定料	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・認知症専門診断管理料	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (内視鏡支援機器を用いる場合)
・外来排尿自立指導料	(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・ハイリスク妊婦連携指導料1・2	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)
・薬剤管理指導料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除 (横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)
・地域連携診療計画加算	
・診療情報提供料( ) 検査・画像情報提供加算	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、 十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、 小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、 結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、 腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、 尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、 膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、 腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・診療情報提供料( ) 電子的診療情報提供料	
・医療機器安全管理料1・2	
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び 歯科治療時医療管理料	
・在宅血液透析指導管理料	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・持続血糖測定器加算	・胸腔鏡下弁形成術
・遺伝学的検査	・経カテーテル大動脈弁置換術
・骨髄微小残存病変量測定	・胸腔鏡下弁置換術
・BRCA1/2遺伝子検査	・経皮的の中隔心筋焼灼術
・がんゲノムプロファイリング検査	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・先天性代謝異常症検査	・ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・HPV核酸検出	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	
・検体検査管理加算( )( )	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・国際標準検査管理加算	
・遺伝カウンセリング加算	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	
・時間内歩行試験	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・シャトルウォーキングテスト	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・胎児心エコー法	・補助人工心臓
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・皮下連続式グルコース測定	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下噴門側胃術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳波検査判断料1	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・神経学的検査	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
・補聴器適合検査	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
・黄斑局所網膜電図	・腹腔鏡下肝切除術
・全視野精密網膜電図	・腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
・ロービジョン検査判断料	
・コンタクトレンズ検査料1	・生体部分肝移植術
・内服・点滴誘発試験	・同種死体肝移植術
・センチネルリンパ節生検	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術

・CT透視下気管支鏡検査加算	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・画像診断管理加算1,2,3	・腹腔鏡下腓頭部切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。)
・ポジトロン断層撮影	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・CT撮影及びMRI撮影	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外傷全身CT加算	・同種死体腎移植術
・心臓MRI撮影加算	・生体腎移植術
・乳房MRI撮影加算	・膀胱水圧拡張術
・頭部MRI撮影加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・外来化学療法加算1	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの)
・連携充実加算	・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・無菌製剤処理料	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・心大血管疾患リハビリテーション料( )	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・脳血管疾患等リハビリテーション料( )	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・運動器リハビリテーション料( )	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・呼吸器リハビリテーション料( )	・遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術
・がん患者リハビリテーション料	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・歯科口腔リハビリテーション2	・輸血管理料( )
・認知療法・認知行動療法	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・精神科ショート・ケア及びデイ・ケア(小規模なもの)	・自己生体組織接着剤作成術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・同種クリオプレシテート作製術
・医療保護入院等診療料	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・硬膜外自家血注入	・胃瘻造設時嚥下評価機能加算
・エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)	・歯周組織再生誘導手術
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・手術時歯根面レーザー応用加算
・人工腎臓の導入期加算2(腎代替療法実績加算)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・透析液水質確保加算2	・麻酔管理料
・手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	・放射線治療専任加算



・う蝕歯無痛の窩洞形成加算	・外来放射線治療加算
・歯科技工加算	・高エネルギー放射線治療
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・皮膚移植術(死体)	・1回線量増加加算(全乳房照射)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)【一次再建・二次再建】	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・体外照射呼吸性移動対策加算
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種移植術(非生体)(同種骨移植術(特殊なものに限る)))	・1回線量増加加算(前立腺照射)
	・定位放射線治療
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・画像誘導密封小線源治療加算
・椎間板内酵素注入療法	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腫瘍脊椎骨全摘出術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・デジタル病理画像による病理診断
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・病理診断管理加算2
・角膜移植術(内皮移植加算)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・羊膜移植術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・CAD/CAM冠

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・腹腔鏡下広汎子宮全摘術
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二 年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	12回/月
剖 検 の 状 況	剖検症例数 10例 / 剖検率 3.4%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
機能的MR撮影法による頭頸部腫瘍の診断と早期治療効果判定の検討	海野真記	医学部附属病院	1,087,866	補委 独立行政法人 日本学術振興会
統合失調症の認知障害の解明-変化検出とその抑制に着目して	元村英史	医学部附属病院	550,065	補委 独立行政法人 日本学術振興会
拡張型心筋症の詳細な病態把握に役立つ心臓MRI定量解析法の開発	石田正樹	医学部附属病院	75,968	補委 独立行政法人 日本学術振興会
新人看護師のリアリティショック軽減に向けたSOCとソーシャルサポート認識への介入	石倉夏海	医学部附属病院	1,412,830	補委 独立行政法人 日本学術振興会
こどものセルフケア能力に着目した在宅生活支援モデルの検討	河俣あゆみ	医学部附属病院	141,395	補委 独立行政法人 日本学術振興会
レセプトデータベース(NDB)の利用を容易にするための包括的支援システムの開発	田辺正樹	医学部附属病院	200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
アポクリン癌を含むアポクリン病変診断の分子病理学的再構築	小塚祐司	医学部附属病院	2,471,044	補委 独立行政法人 日本学術振興会
病理診断確定症例家系に依拠した紀伊ALS・パーキンソン認知症複合の疾患概念確立	三室マヤ	医学部附属病院	70,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ポリオウイルスによる神経芽腫の新しい治療の研究	豊田秀実	医学部附属病院	1,827,875	補委 独立行政法人 日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧の血管病変形成への血管平滑筋と炎症の関与 :ゲノム編集技術の応用	三谷義英	医学部附属病院	1,016,684	補委 独立行政法人 日本学術振興会
食塩感受性高血圧モデルにおけるSGLT2阻害の心不全進展抑制効果の検討	土肥薫	医学部附属病院	600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
肺線維症とマイクロビームの関連に関する研究	中原博紀	医学部附属病院	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
新規培養法を用いたヒトリンパ球系分化制御および腫瘍化の分子遺伝学的研究	大石晃嗣	医学部附属病院	773,579	補委 独立行政法人 日本学術振興会
遊離癌細胞の生着能を利用した転移機形成序解明とあらたなHIPEC治療適応の確立	安田裕美	医学部附属病院	2,186,801	補委 独立行政法人 日本学術振興会
食道癌特異的分泌型エキソソームを標的とした多目的バイオマーカーの確立	大井正貴	医学部附属病院	1,648,478	補委 独立行政法人 日本学術振興会
敗血症患者における血小板内環状RNAの解析	境倫宏	医学部附属病院	182,918	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ウェアラブルセンサーを用いたICU医療者のコミュニケーション活性度の解析	今井寛	医学部附属病院	1,866,916	補委 独立行政法人 日本学術振興会
エキソソーム型トロンボモジュリンによる敗血症治療	川本英嗣	医学部附属病院	1,198,411	補委 独立行政法人 日本学術振興会

小計

18件

18,110,830 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
糖尿病網膜症の進行阻止における血液凝固関連因子が果たす新たな機能の解明	杵本昌彦	医学部附属病院	811,174	補委 独立行政法人 日本学術振興会
悪性腫瘍におけるPDE2細胞内情報伝達複合体を標的とした新規個別化治療の探索	村田琢	医学部附属病院	970,131	補委 独立行政法人 日本学術振興会
口腔悪性黒色腫新治療薬の開発-PDE1阻害剤の臨床応用を目指して	清水香澄	医学部附属病院	1,482,948	補委 独立行政法人 日本学術振興会
リハビリ領域における系統的レビューの基盤整備とエビデンス診療ギャップの検証	百崎良	医学部附属病院	1,732,940	補委 独立行政法人 日本学術振興会
マイクロMRIによる剖検脳撮像を利用した脳小血管病の病理研究と臨床MRIへの応用	石川英洋	医学部附属病院	766,012	補委 独立行政法人 日本学術振興会
直腸癌放射線治療におけるアプスコバル効果のEpigeneticな機序解明	井出正造	医学部附属病院	2,193,618	補委 独立行政法人 日本学術振興会
膵切除術後の残膵外内分泌機能のCTを用いた新規評価法の探索とその応用	飯澤清介	医学部附属病院	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ステント留置に伴う脳動脈瘤内血行力学的変化の多孔質媒体を用いた数値流体力学解析	辻正範	医学部附属病院	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脳梗塞後、ペントラキシン3を起点とした新たな治療法の開発	新堂晃大	医学部附属病院	1,543,187	補委 独立行政法人 日本学術振興会
子宮筋症不妊に対するPDE5阻害薬の効果と酸化ストレスへの影響	前沢忠志	医学部附属病院	600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
パーキンソン病で出現する構音障害の画像特徴-脳画像解析による出現機序の解明-	上田有紀人	医学部附属病院	1,017,895	補委 独立行政法人 日本学術振興会
診療関連エラーに関する考え方やその検出法の検討	兼児敏浩	医学部附属病院	84,487	補委 独立行政法人 日本学術振興会
重度認知症に対する音楽体操の効果:神経心理学と脳画像解析による検討	佐藤正之	医学部附属病院	313,680	補委 独立行政法人 日本学術振興会
細胞外マトリックス(テネイシンC)による放射線肺障害の病態解明とその臨床応用	高田彰憲	医学部附属病院	1,827,426	補委 独立行政法人 日本学術振興会
左心系心疾患における運動時左房機能と右室肺動脈カップリングの関連と予後予測の検討	杉本匡史	医学部附属病院	2,367,188	補委 独立行政法人 日本学術振興会
心肥大及び心不全発症における、ねじれ運動制御機構の解明	岡本隆二	医学部附属病院	1,695,772	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ヒルシュスブルグ病における腸管壁内神経節細胞局在の二光子レーザー顕微鏡観察研究	内田恵一	医学部附属病院	2,370,720	補委 独立行政法人 日本学術振興会
転移性大腸癌における癌悪液質併発のエピジェネティックな機序解明	藤川裕之	医学部附属病院	2,654,570	補委 独立行政法人 日本学術振興会
赤血球による細菌防御機構の解明-新生児赤血球のプロテオミクス解析	亀井政孝	医学部附属病院	26,300	補委 独立行政法人 日本学術振興会
本邦の集中治療領域における新たなQuality indicatorの構築	中橋将	医学部附属病院	2,279,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

小計

19件

24,358,048 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
本邦の薬下剤領域における新たなQuality indicatorの構築	中橋英	医学部附属病院	2,270,000	独立行政法人 日本学術振興会
デュビユイトラン拘縮に対する核酸治療の導入	辻井雅也	医学部附属病院	600,000	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト椎間板変性に対するエビゲノムワイド関連解析	明田浩司	医学部附属病院	2,000,000	独立行政法人 日本学術振興会
ビスフォスフォネートとカルシウム塩の結合体の粘膜為害性作用の解析	黒原一人	医学部附属病院	1,572,824	独立行政法人 日本学術振興会
地域圏統合型医療情報データベースを用いた抗菌薬適正使用の評価に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	1,275,283	独立行政法人 日本学術振興会
コホート保存検体RNA解析による消化器癌・肺癌早期診断マーカーに関する研究	問山裕二	医学部附属病院	30,000	独立行政法人 日本学術振興会
コホート保存検体RNA解析による消化器癌・肺癌早期診断マーカーに関する研究	川口晃司	医学部附属病院	24,260	独立行政法人 日本学術振興会
精神障害の親を持つ子どもの自尊心回復に向けたアプローチ訪問型家族支援の導入	鈴木大	医学部附属病院	50,000	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト剖検脳とモデルマウスを用いた脳アミロイド血管症の病態解明	水谷あかね	医学部附属病院	797,590	独立行政法人 日本学術振興会
パーキンソン病におけるMRI画像と高次機能の関連	松浦慶太	医学部附属病院	619,104	独立行政法人 日本学術振興会
胎児発育不全妊婦のMRIによる胎盤、胎児の酸素濃度変動測定とタダラフィルの効果	二井理文	医学部附属病院	1,916,534	独立行政法人 日本学術振興会
周産期侵襲の肺動脈性肺高血圧の発症への関与:エビゲノムを介する分子機序	大矢和伸	医学部附属病院	1,700,318	独立行政法人 日本学術振興会
人工知能を用いた、胸部X線写真から血行動態指標を予測する方法の開発	鳥羽修平	医学部附属病院	100,000	独立行政法人 日本学術振興会
マトリックスメタロプロテイナーゼ2が腎線維化に与える影響の解明	西濱康太	医学部附属病院	1,500,000	独立行政法人 日本学術振興会
細胞間接着分子発現抑制を介した脂肪肝虚血再灌流障害機序の解明	藤井武宏	医学部附属病院	900,000	独立行政法人 日本学術振興会
最新人工心肺における吸入麻酔薬投与システムの確立	住吉美穂	医学部附属病院	129,570	独立行政法人 日本学術振興会
敗血症性肺傷害における2型自然リンパ球の炎症制御機構とその集積メカニズムの解明	赤間悠一	医学部附属病院	1,866,852	独立行政法人 日本学術振興会
敗血症性ミオパチー:骨格筋とレジデントマクロファージのクロストーク	池尻薫	医学部附属病院	2,600,000	独立行政法人 日本学術振興会
敗血症診療体制樹立～地域特性を活かした敗血症診療ネットワーク構築からの試み～	鈴木圭	医学部附属病院	1,158,213	独立行政法人 日本学術振興会
マトリセルラー蛋白を標的としたくも膜下出血後脳損傷の新規診断法の開発	西川拓文	医学部附属病院	800,000	独立行政法人 日本学術振興会

小計

19件

21,119,551 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
生体内より抽出された抗酸化剤添加ポリエチレンの物質構造の変化	刀根慎恵	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胎児発育不全の改善に果たすタダラフィルの作用機序の解明	田中博明	医学部附属病院	858,049	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胎盤機能不全におけるタダラフィル投与による病態改善機序の解明	真木晋太郎	医学部附属病院	1,664,019	補委	独立行政法人 日本学術振興会
泌尿器腫瘍の診断・治療のための生体膜修飾で拓くナノキャリアのプラットフォーム作製	林昭伸	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨格筋-脳コミュニケーション異常と敗血症関連脳症:骨格筋エキソソームの役割解明	川本英嗣	医学部附属病院	4,528,274	補委	独立行政法人 日本学術振興会
入院時持参薬における処方複雑性が薬物治療効果に及ぼす影響	若井恵里	医学部附属病院	228,670	補委	独立行政法人 日本学術振興会
こどもの生活と発達の「見えづらさ」に着目した状況特定理論の構築	河俣あゆみ	医学部附属病院	300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
細胞の質的变化に基づく肺組織老化・疾患促進機構の研究:細胞老化の視点から	杉本和史	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
がんゲノム薬理情報とTDMを活用した個別化薬物治療の実用化に向けた研究	岩本卓也	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
膵癌における一次線毛の機能異常と臨床病理学的特性との関連	内田克典	医学部附属病院	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
エネルギー代謝に注目した多機能遺伝子改変 T細胞の追求	石原幹也	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
がん遺伝子パネル検査の外部精度評価スキームの戦略的実践によって検査の質向上を図る	中谷中	医学部附属病院	300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
精神病症状を伴う双極性障害と統合失調症の神経ネットワーク~白質障害の比較解析~	城山隆	医学部附属病院	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肝細胞内容積と肝細胞機能の統合的診断の開発と肝切除術前評価への応用	市川泰崇	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心筋の拡張障害に対する脱細胞化細胞外マトリックスによる物理特性の影響の検討	森脇啓至	医学部附属病院	2,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肺高血圧症の肺動脈新生内膜形成の機序:肺トランスクリプトーム解析によるアプローチ	淀谷典子	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
前向き研究に向けたIgA腎症の組織学的重症度分類の解析プラットフォームの構築	片山鑑	医学部附属病院	100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
国際共同によるNK/T細胞リンパ腫の病態比較と治療最適化	山口素子	医学部附属病院	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胆道閉鎖症における肝門部微小胆管の二光子レーザー顕微鏡による観察研究	井上幹大	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
潰瘍性大腸炎関連大腸癌と孤発性大腸癌を鑑別するDNAメチ	近藤新	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計

19件

21,679,012 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ル化マーカーの開発	北藤口	医学部附属病院	1,600,000	独立行政法人 日本学術振興会
医療事故情報の適切な提示を可能とする組織的対応の基礎的知見構築	兼児敏浩	医学部附属病院	120,000	独立行政法人 日本学術振興会
3対6筋モデルの足関節への拡張による転倒予防のための評価・改善・支援手法の開発	北浦有紀絵	医学部附属病院	1,700,000	独立行政法人 日本学術振興会
数理モデルを用いたワルファリン投与設計法の開発	平井利典	医学部附属病院	692,943	独立行政法人 日本学術振興会
4D flow MRIを用いた大動脈解離の血流評価及び予後予測	東川貴俊	医学部附属病院	1,300,000	独立行政法人 日本学術振興会
ドナー骨髄由来M2マクロファージによる急性GVHDの新規治療	花木良	医学部附属病院	600,000	独立行政法人 日本学術振興会
EMAST陽性胃癌に対する抗PD-1抗体による抗腫瘍免疫応答の解明	北嶋貴仁	医学部附属病院	600,000	独立行政法人 日本学術振興会
膀胱リスク患者での膀胱早期発見におけるアポリポタンAIIの有用性	早崎碧泉	医学部附属病院	600,000	独立行政法人 日本学術振興会
DOACがもたらすHMGB1-HIFシグナルに注目した革新的HCC制御機構	野口大介	医学部附属病院	2,435,761	独立行政法人 日本学術振興会
術前心エコー検査の適正利用に関する戦略的研究の推進	米倉寛	医学部附属病院	864,728	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト脳脊髄液の多角的プロテオミクスによる術後せん妄の機序解明および創薬標的の探索	中森裕毅	医学部附属病院	900,000	独立行政法人 日本学術振興会
VR(仮想現実)による術後せん妄予防:ICU入室患者での検討	江角亮	医学部附属病院	1,400,000	独立行政法人 日本学術振興会
レジリエンスを強化する医療者間コミュニケーションの構造解明:ウェアラブルの活用	伊藤亜紗実	医学部附属病院	2,800,000	独立行政法人 日本学術振興会
てんかんに着目したくも膜下出血後早期脳損傷の病態解明	川北 文博	医学部附属病院	1,100,000	独立行政法人 日本学術振興会
アキレス腱損傷における多血小板フィブリンの影響とその分子学的メカニズムの解明	千賀佳幸	医学部附属病院	1,900,000	独立行政法人 日本学術振興会
流産モデルマウスにおける免疫機構の解明と不育症による流産に対する新規治療法の開発	北野裕子	医学部附属病院	1,200,000	独立行政法人 日本学術振興会
子宮内膜菲薄化モデルマウスに対するPDE5阻害薬の効果と作用機序の解明	西岡美喜子	医学部附属病院	1,000,000	独立行政法人 日本学術振興会
消化管過誤腫性腫瘍好発疾患群の小児から成人へのシームレスな診療体制構築のための研究	内田恵一	医学部附属病院	9,000	厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	内田恵一	医学部附属病院	350,000	厚生労働省
障害児相談支援における基礎的知識の可視化のための研究	岩本彰太郎	医学部附属病院	350,000	厚生労働省

小計

19件

21,622,432 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する臨床疫学研究	中島垂矢子	医学部附属病院	220,000	補 委	厚生労働省
新型インフルエンザ等の感染症発生時のリスクマネジメントに資する感染症のリスク評価及び公衆衛生的対策の強化に関する研究	高橋佳紀	医学部附属病院	1,000,000	補 委	厚生労働省
難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	内田恵一	医学部附属病院	300,000	補 委	厚生労働省
小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究-患者本位のがん医療の実現を目指して	前沢忠志	医学部附属病院	100,000	補 委	厚生労働省
Stage 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第相比較臨床試験 ACHIEVE Trail(JFMC47-1202-C3)	問山裕二	医学部附属病院	16,923	補 委	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
再発危険因子を有するStage 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究(JFMC46-1201)	問山裕二	医学部附属病院	3,136	補 委	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
トボグリフロジンの安全性および有効性の検討 前向き観察研究	矢野裕	医学部附属病院	604,840	補 委	公益社団法人 日本糖尿病協会
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究 J-DOIT3(追跡)	矢野裕	医学部附属病院	200,000	補 委	公益社団法人 日本糖尿病協会
分化型甲状腺癌を対象としたレンパチニブの治療効果探索のためのコホート研究	水野聡朗	医学部附属病院	100,307	補 委	公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
早期胃癌に対するセンチネルリンパ節を指標としたリンパ節転移診断と個別化手術の有用性に関する臨床試験	大井正貴	医学部附属病院	51,500	補 委	学校法人 慶応義塾
早期関節リウマチ患者における初期治療効果反応性による治療強化の予後予測に関する研究	若林弘樹	医学部附属病院	28,756	補 委	国立大学法人 名古屋大学
非弁膜症性心房細動患者に対する抗凝固療法治療実態に関する三重地域圏統合型医療情報データベース(Mie-Lip DB)を用いた疫学研究	西村有起	医学部附属病院	76,183	補 委	学校法人 武蔵野大学
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の難治性病型に対する治療研究:フォローアップ	山口素子	医学部附属病院	4,059,379	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
未治療血管内大細胞型B細胞リンパ腫に対する治療研究	山口素子	医学部附属病院	7,020,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
血管免疫芽球性T細胞リンパ腫(AITL)及びその他の濾胞性ヘルパーT細胞リンパ腫に対するダサチニブの多施設第II相医師主導治験	山口素子	医学部附属病院	2,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 筑波大学)
小児急性骨髄性白血病(de novo AML)に対する標準的治療法の確立	岩本彰太郎	医学部附属病院	1,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 京都大学)
川崎病に伴う冠動脈後遺症の成人期の予後と移行医療の実態に関する研究	三谷義英	医学部附属病院	9,228,044	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
令和2年度HIV感染者等保健福祉相談事業	大石晃嗣	医学部附属病院	750,000	補 委	公益財団法人 エイズ予防財団
軽症・中等症友友病、および保因者女性の臨床解析、ガイドラインへの応用	松本剛史	医学部附属病院	2,200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(学校法人 自治医科大学)
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開	山口素子	医学部附属病院	2,000,000	補	国立研究開発法人 国立がん研究

小計

19件  
26,709,068 円



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
発と標準治療確立のための多施設共同研究	山口泰司	医学部附属病院	2,000,000	補 ⑤委	センター
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	浅沼邦洋	医学部附属病院	300,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 岡山大学)
治験の実施	中村知樹	医学部附属病院	440,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 金沢大学)
適格例の登録とプロトコル治療	大井正貴	医学部附属病院	100,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(学校法人 慶應義塾)
進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	浅沼邦洋	医学部附属病院	300,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 大分大学)
COVID-19に関するレジストリ研究	今井寛	医学部附属病院	40,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	矢野裕	医学部附属病院	300,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
基幹型認知症疾患医療センター運営事業	富本 秀和	医学部附属病院	8,074,000	補 ⑤委	三重県
地域医療支援センターキャリア形成支援事業	岡本 隆二	医学部附属病院	43,000,000	補 ⑤委	三重県
地域がん登録情報活用事業	中瀬 一則	医学部附属病院	21,908,260	補 ⑤委	三重県
がん検診受診促進・精度管理事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	5,947,000	補 ⑤委	三重県
医科歯科連携推進人材育成事業	中瀬 一則	医学部附属病院	469,780	補 ⑤委	三重県
感染対策支援ネットワーク事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	740,700	補 ⑤委	三重県
肝疾患診療地域連携体制強化事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	12,850,000	補 ⑤委	三重県
肝炎情報センター戦略的強化事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	1,944,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター肝炎情報センター
がん医療水準均てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	中瀬 一則	医学部附属病院	376,739	補 ⑤委	三重県
医療的ケアを必要とする障がい児・者の地域連携・人材育成事業	岩本彰太郎	医学部附属病院	1,991,000	補 ⑤委	三重県
周産期医療ネットワークシステム運営研究事業(妊産婦)	池田智明	医学部附属病院	3,832,950	補 ⑤委	三重県
難病医療ネットワーク整備事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	4,212,514	補 ⑤委	三重県
看護管理者の院内・地域内継続学習の推進事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	902,000	補 ⑤委	三重県

小計

19件  
103,731,479 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
エイズ治療拠点病院等に対する研修・啓発及び医療情報提供等業務	大石晃嗣	医学部附属病院	700,000	補 委	三重県
認知症サポート医フォローアップ研修事業	吉丸公子	医学部附属病院	338,462	補 委	公益社団法人 三重県医師会
慢性疼痛診療体制構築モデル事業	丸山一男	医学部附属病院	3,000,000	補 委	厚生労働省(学校法人 愛知医科大学)
がん診療連携拠点病院機能強化事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	37,560,000	補 委	厚生労働省
小児がん拠点病院機能強化事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	25,000,000	補 委	厚生労働省
三重県新人看護職員研修事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	1,785,000	補 委	三重県
認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	6,180,000	補 委	三重県
小児在宅医療・福祉連携事業	岩本 彰太郎	医学部附属病院	16,472,000	補 委	三重県
総合診療医広域育成拠点整備事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	1,381,000	補 委	三重県
がんゲノム診療連携拠点病院事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	20,000,000	補 委	厚生労働省
津市こども救急教育事業	今井 寛	医学部附属病院	250,000	補 委	津市
ICT活用地域医療連携支援事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	7,250,000	補 委	三重県
臨床研修事業(医師)	伊佐地 秀司	医学部附属病院	1,926,722	補 委	三重県
看護師特定行為研修事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	1,231,000	補 委	厚生労働省
救急患者退院コーディネーター事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	1,968,000	補 委	三重県
救急救命士病院実習受入促進事業	伊佐地 秀司	医学部附属病院	182,000	補 委	三重県
ナノゲルハイブリッド材料の創製と医療応用	珠玖洋	医学系研究科	3,000,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
放射線治療後の心臓障害の診断システムの開発と臨床応用	野本由人	医学系研究科	217,466	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
中壮年からのロコモ検診、ロコモ予防	西村明展	医学系研究科	363,292	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
浸潤性膵管癌の生物学的悪性度からみた新規臨床病期システム	伊佐地秀司	医学系研究科	900,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会

小計

19件

134,171,648 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
αの確立とその治療応用	伊藤正明	医学系研究科	900,000	独立行政法人 日本学術振興会
Abscopal効果の効果的な照射/ワクチン最適注射臓器の探索	渡辺隆	医学系研究科	1,015,804	独立行政法人 日本学術振興会
嗅粘膜移植と炎症制御による神経再生を併用する神経性嗅覚障害の新規治療法開発研究	小林正佳	医学系研究科	503,332	独立行政法人 日本学術振興会
多職種連携カンファレンスに必要とされる看護師の能力と基礎看護教育の役割の明確化	後藤道子	医学系研究科	13,470	独立行政法人 日本学術振興会
多職種連携カンファレンスに必要とされる看護師の能力と基礎看護教育の役割の明確化	若林英樹	医学系研究科	50,000	独立行政法人 日本学術振興会
脂質代謝異常に着目した新規前立腺癌診断・治療の開発	井上貴博	医学系研究科	2,800,000	独立行政法人 日本学術振興会
遺伝性網膜疾患の中型-大型動物モデルの拠点形成と新規治療法開発	近藤峰生	医学系研究科	1,900,000	独立行政法人 日本学術振興会
おいしさを形成する多感覚統合の解明	小林正佳	医学系研究科	400,000	独立行政法人 日本学術振興会
イモリ型の臓器再生を可能にする体細胞リプログラミング因子の解明と医学への展開	成島三長	医学系研究科	50,000	独立行政法人 日本学術振興会
病理診断確定症例家系に依拠した紀伊ALS・パーキンソン認知症複合の疾患概念確立	佐々木良元	医学系研究科	70,000	独立行政法人 日本学術振興会
人工知能により冠動脈MRAから冠血流予備量比を計測するMR-FFR法の開発	佐久間肇	医学系研究科	758,530	独立行政法人 日本学術振興会
一次線毛動態制御による新たな膀胱癌治療法の開発	山田玲子	医学系研究科	1,103,619	独立行政法人 日本学術振興会
副腎アルドステロン産生に対するバソプレシンV2受容体拮抗薬の新しい薬理作用の解明	伊藤正明	医学系研究科	2,235,117	独立行政法人 日本学術振興会
周産期心筋症の早期診断のためのバイオマーカー検査確立研究	池田智明	医学系研究科	50,000	独立行政法人 日本学術振興会
肺静脈閉塞症類似実験的肺高血圧における肺静脈・肺細静脈の病態解析	丸山一男	医学系研究科	50,000	独立行政法人 日本学術振興会
白血病に対するネオアンチゲン特異的な革新的遺伝子改変ヘルパーT細胞療法の開発	藤原弘	医学系研究科	900,000	独立行政法人 日本学術振興会
胃癌腹膜播種進展におけるRNA後天的修飾の意義	沖上正人	医学系研究科	1,842,620	独立行政法人 日本学術振興会
潰瘍性大腸炎関連連癌におけるRNAメチル化マーカーの臨床的意義	井上靖浩	医学系研究科	1,848,530	独立行政法人 日本学術振興会
アブスコパル効果の概念から考案した腹腔内温熱化学療法の有効性の検討	三木奮雄	医学系研究科	1,819,663	独立行政法人 日本学術振興会
胃癌における臓器特異性転移におけるエピゲノムのあらたな役割解明	川村幹雄	医学系研究科	1,603,072	独立行政法人 日本学術振興会

小計

19件

16,380,630 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
原子間力顕微鏡を用いた血管の「硬さ」測定による動脈硬化病変の評価法の確立	松尾映里	医学系研究科	1,022,618	補委 独立行政法人 日本学術振興会
全ての下肢荷重関節における運動器疾患とロコモ・介護度・運動機能との関連性	須藤啓広	医学系研究科	600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
総合診療専門医養成プログラムにおけるビデオレビューを用いた教育システムの構築	後藤道子	医学系研究科	1,151,191	補委 独立行政法人 日本学術振興会
4年間の地域包括的ケア体験学習プログラムの構築と看護OSCEによる評価	後藤道子	医学系研究科	179,137	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ヒトT細胞エクソソームのmiRNAsによるISG誘導作用とがん間質抑制機構の解明	百瀬文康	医学系研究科	994,878	補委 独立行政法人 日本学術振興会
超微小血管外科手技による動物リンパ液鬱滞モデル作成とリンパ浮腫発生機序の解明	石浦良平	医学系研究科	2,029,540	補委 独立行政法人 日本学術振興会
エクソソームのがん間質傷害作用を利用した腫瘍浸潤がん細胞傷害性T細胞の最適化	瀬尾尚宏	医学系研究科	1,216,343	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脳アミロイド血管症の末梢血バイオマーカーと認知症根本治療法の確立を目指した研究	富本秀和	医学系研究科	4,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
腫瘍細胞とキメラ抗原受容体T細胞のエネルギー代謝の相違に着目した次世代細胞治療	三輪 啓志	医学系研究科	1,698,386	補委 独立行政法人 日本学術振興会
機能性疾患病態生理仮説に従ったアストロサイト分極誘導と三者間伝達機能の解析研究	岡田元宏	医学系研究科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
CX3CR1陽性単球の大腸炎関連大腸癌発症における分子病態生理学的役割の解明	榎屋正浩	医学系研究科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
薬剤性心筋症早期診断を目指した非侵襲的心筋組織性状評価法の有用性の検討	中森史朗	医学系研究科	2,682,651	補委 独立行政法人 日本学術振興会
遺伝子改変マウスC/EBP を用いた移植後慢性GVHDの病態解明と新規治療	平山雅浩	医学系研究科	1,205,722	補委 独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌転移進展におけるあらたなNon-coding RNAによる機序解明	今岡裕基	医学系研究科	2,223,132	補委 独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌・潰瘍性大腸炎関連癌における後天的RNA修飾マーカーの有用性	奥川喜永	医学系研究科	1,842,135	補委 独立行政法人 日本学術振興会
プライマリーCD4T同時輸注によるCEAを標的としたCAR-T療法の増強と機序	王立楠	医学系研究科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
癌合併クローン病に対するmicroRNAによる非侵襲的診断マーカーの開発	荒木俊光	医学系研究科	2,608,973	補委 独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌Tumor Buddingを同定する新たなエピゲノムマーカーの開発	廣純一郎	医学系研究科	2,443,740	補委 独立行政法人 日本学術振興会
胎児発育不全に対するタダラフィル投与の安全性に関する分子基盤の確立	池田智明	医学系研究科	1,385,186	補委 独立行政法人 日本学術振興会
遺伝子パネルと全エクソーム解析による原発性線毛運動不全症	竹内百彦	医学系研究科	1,050,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

小計

19件

30,059,618 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
の原因遺伝子の解析	行野芳彦	医学系研究科	1,050,000	独立行政法人 日本学術振興会
味細胞情報伝達機構の可逆的障害による味覚障害発症メカニズムの解明	西田幸平	医学系研究科	900,285	独立行政法人 日本学術振興会
マウスを用いたin vivo 細胞融合法による神経軸索即時機能回復法の検討	成島三長	医学系研究科	2,200,000	独立行政法人 日本学術振興会
コホート保存検体RNA解析による消化器癌・肺癌早期診断マーカーに関する研究	田中光司	医学系研究科	20,000	独立行政法人 日本学術振興会
コホート保存検体RNA解析による消化器癌・肺癌早期診断マーカーに関する研究	奥川喜永	医学系研究科	30,000	独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌Sarocopenia発症のエピゲノム機序解明と新たなバイオマーカーの開発	三枝 晋	医学系研究科	2,107,127	独立行政法人 日本学術振興会
マダニ中のリケッチア存在有無による行動変貌の調査及びミナサイクリン適正利用の研究	近藤誠	医学系研究科	1,285,310	独立行政法人 日本学術振興会
Effect of LARGE1 systemic gene delivery by adeno-associated virus on metastatic potential in high-risk neuroblastoma	米川貴博	医学系研究科	2,154,433	独立行政法人 日本学術振興会
生体肝移植術後の血栓性微小血管障害症の病態解明とグラフト肝機能の改善を目指して	種村彰洋	医学系研究科	500,000	独立行政法人 日本学術振興会
間質性肺炎合併肺癌で2型自然リンパ球が果たす2つの役割:線維化促進と腫瘍免疫抑制	伊藤温志	医学系研究科	1,380,903	独立行政法人 日本学術振興会
テネシシンCに着目したてんかん原性獲得過程の病態解明	市川尚己	医学系研究科	1,100,000	独立行政法人 日本学術振興会
前立腺癌の去勢抵抗性獲得におけるCD105が関連する内皮間葉分化転換の役割	加藤学	医学系研究科	800,000	独立行政法人 日本学術振興会
月経周期を考慮した体重階級制アスリートにおける減量法の確立	西牧未央	医学系研究科	2,747,976	独立行政法人 日本学術振興会
就労と治療の両立に関する労働者用リテラシー教育方略の開発と教育効果の測定	市川周平	医学系研究科	2,691,830	独立行政法人 日本学術振興会
難治性食道癌に有効なCAR-T療法のための最適なT細胞選択	影山慎一	医学系研究科	3,398,238	独立行政法人 日本学術振興会
病原細菌エフェクターによるNF- B経路を標的とした感染機構の解析	谷一寿	医学系研究科	300,000	独立行政法人 日本学術振興会
細胞外足場タンパク質によるシナプス・非シナプス機能制御機構の解明	溝口明	医学系研究科	2,340,000	独立行政法人 日本学術振興会
筋肉障害及び修復におけるデスミンリン酸化の生理的・病態的意義の解明	山川大史	医学系研究科	1,300,000	独立行政法人 日本学術振興会
逐次近似法再構成冠動脈CTが臨床転帰に与える影響に関する多施設無作為比較試験	北川寛也	医学系研究科	60,000	独立行政法人 日本学術振興会
高解像3次元脳MRIを用いた脳小血管病の血管周囲腔定量評価法の開発	前田正幸	医学系研究科	1,450,000	独立行政法人 日本学術振興会

小計

19件

29,704,001 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
RNAメチル化を介した胃癌腹膜播種進展の機序解明	田中光司	医学系研究科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
早期肺腺癌のCT画像におけるAI(人工知能)補助診断の有用性検証	高尾仁二	医学系研究科	2,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
バーチャルリアリティー (VR) を活用した麻酔科患者接遇改善研究	宮部雅幸	医学系研究科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
頸動脈狭窄症における局所的乱流と脳梗塞発症リスクに関する研究	鈴木秀謙	医学系研究科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
テネシシンC・シンデカン4・フィブロネクチンの軟骨に対する作用とシグナル伝達機構	長谷川正裕	医学系研究科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
疲労関連タンパク質を用いた任意型健康診断集団における疾病予測研究	江口暁子	医学系研究科	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
CpGによる活性化T細胞エクソソームを介したがん悪性化制御作用及び分子機構の解明	百瀬文康	医学系研究科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
同種造血幹細胞移植後慢性GVHDにおける臓器線維化メカニズムの解明と制御法の開発	伊野和子	医学系研究科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
細胞剛性に着目した転移抑制薬スクリーニング	喜多晃司	医学系研究科	2,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
マウス胚性幹細胞から誘導したミュー管細胞の機能性評価と子宮再生機序の解明	武内大輝	医学系研究科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
変形性膝関節症における疾患構成要素および重症度に基づくリスク多型と疾患感受性遺伝子解析	須藤啓広	医学系研究科	382,636	補委 公益財団法人 日本整形外科学会 (公立大学法人 京都大学)
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	和田英夫	医学系研究科	450,000	補委 厚生労働省
成人発症白質脳症の実際と有効な医療施策に関する研究班	富本秀和	医学系研究科	2,200,000	補委 厚生労働省
小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究	岩本彰太郎	医学系研究科	250,000	補委 厚生労働省
次期がん対策推進基本計画に向けて小児がん拠点病院および連携病院の小児がん医療・支援の質を評価する新たな指標開発のための研究	平山雅浩	医学系研究科	200,000	補委 厚生労働省
慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	丸山一男	医学系研究科	200,000	補委 厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模他施設研究	須藤啓広	医学系研究科	100,000	補委 厚生労働省
小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究-患者本位のがん医療の実現を目指して	池田智明	医学系研究科	200,000	補委 厚生労働省
小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究-患者本位のがん医療の実現を目指して	平山雅浩	医学系研究科	200,000	補委 厚生労働省
新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、地域における	平山雅浩	医学系研究科	5,070,000	補委 厚生労働省

小計

19件

21,932,636 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
医療提供体制の強化のための研究	山下雅浩	医学系研究科	5,079,000	補 委	厚生労働省
新型コロナウイルス感染症による嗅覚、味覚障害の機序と疫学、予後の解明に資する研究	小林正佳	医学系研究科	500,000	補 委	厚生労働省
周産期医療の質の向上に寄与するための、妊産婦及び新生児の管理と診療連携体制	池田智明	医学系研究科	2,603,000	補 委	厚生労働省
産婦死亡に関する情報の管理体制の構築及び予防介入の展開に向けた研究	池田智明	医学系研究科	3,732,000	補 委	厚生労働省
地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成	丸山一男	医学系研究科	6,280,000	補 委	文部科学省
高度がん医療を先導するがん医療人養成	須藤啓広	医学系研究科	11,289,000	補 委	文部科学省(国立大学法人 京都大学)
東海国立大学病院機構CSTネットワーク事業	鈴木秀謙	医学系研究科	100,000	補 委	文部科学省(国立大学法人 東海国立大学機構)
12年一貫型CBMEを枠組みとした、三重大学総合診療医養成事業	若林英樹	医学系研究科	20,662,183	補 委	厚生労働省
三重大学 感染症医療人材養成事業	須藤啓広	医学系研究科	102,809,000	補 委	文部科学省
三重県における自殺者数の経年推移の特性解析	岡田元宏	医学系研究科	1,000,000	補 委	三重県
クライオ電子顕微鏡を用いた膜タンパク質の高分解能動的構造解析と技術人材育成支援	谷一寿	医学系研究科	12,272,728	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
三重県プライマリ・ケアセンター事業	須藤啓広	医学系研究科	3,103,623	補 委	三重県
医療・介護資源の不足する地域における多職種連携推進事業委託	須藤啓広	医学系研究科	1,360,000	補 委	三重県
予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業	平山雅浩	医学系研究科	5,577,608	補 委	三重県
NMN輸送体(NMNT)を認識する抗体作製に関する請負契約	溝口明	医学系研究科	4,950,000	補 委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
生活習慣病予防重点プロジェクト事業業務委託	伊藤正明	医学系研究科	6,000,000	補 委	名張市
慢性脳虚血モデルとCAA患者のAPP770の解析	富本秀和	医学系研究科	1,950,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(公立大学法人 福島県立医科大学)
局所進行子宮頸癌の予後およびQOL改善を目指した治療法確立のための臨床試験	近藤英司	医学系研究科	195,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(静岡県立 静岡がんセンター)
T細胞レセプター疑似抗体及びGITR細胞内ドメインを利用した革新的CAR-T細胞輸注療法の開発	宮原慶裕	医学系研究科	124,280,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
糖鎖を基軸とするエクソソームの多様性解析と生体応答・制御の基盤研究	瀬尾尚宏	医学系研究科	18,269,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構

小計

19件  
177,268,142 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遠隔臓器間の病態伝播を担う内在性微粒子microparticleの機能解明	江口暁子	医学系研究科	12,220,000	補 委 国立研究開発法人 科学技術振興機構
医薬品等の動物試験代替法の開発及び国際標準化等に関する研究	田中利男	医学系研究科	1,950,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
再発小児急性リンパ性白血病の標準治療確立を目的とした第III相国際共同臨床試験 (International randomized phase III study of establishing standard treatment for childhood relapsed acute lymphoblastic leukemia)	豊田秀実	医学系研究科	18,516,736	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
認知症疾患医療センターの患者分析による連携機能の強化	富本秀和	医学系研究科	1,200,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター)
適格患者の登録、バイオバンク保存検体解析、高齢ホジキンリンパ腫の病態解析	宮崎香奈	医学系研究科	910,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(独立行政法人 国立病院機構名古屋医療センター)
RNF213 p.R4810K多型判定の国内拠点形成	富本秀和	医学系研究科	1,950,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人 国立循環器病研究センター)
脳小血管病スコアと軽度パーキンソン徴候の関連	富本秀和	医学系研究科	400,000	補 委 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
成人T細胞白血病/リンパ腫に対するHTLV-1p40Tax特異的T細胞受容体遺伝子導入アロ-T細胞輸注療法の研究開発	藤原弘	医学系研究科	55,500,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
乳幼児期に発症する疾患・障害の早期発見と予防的支援手法に関する研究開発-視覚障害について	近藤峰生	医学系研究科	1,690,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人 国立成育医療研究センター)
品質の揃ったスフェロイドを低コスト高効率生産する培養足場の実用化研究	武内大輝	医学系研究科	7,917,000	補 委 国立研究開発法人 科学技術振興機構
小児・AYA世代の難治性固形がんに対する遺伝子改変T細胞輸注療法の探索	藤原弘	医学系研究科	2,500,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
個別がん変異に対するT細胞応答およびネオアンチゲンエピトープ解析と、それらを用いた革新的個別がん免疫療法の開発	珠玖洋	医学系研究科	3,400,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 長崎大学)
ヒトIPS細胞を用いた線毛機能不全症候群の新規診断法の開発と精密医療への応用	竹内万彦	医学系研究科	3,900,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 京都大学)
小児ダウン症合併骨髄性白血病(ML-DS)に対するフローサイトメトリー法を用いた微小残存病変(MRD)測定法の確立	岩本彰太郎	医学系研究科	1,300,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 滋賀医科大学)
がんプレジジョンメディシンのための自動ゼブラフィッシュ創薬システム開発	田中利男	医学系研究科	1,907,560	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 東海国立大学機構)
機械学習を用いたクライオ電子顕微鏡の撮影効率化	谷一寿	医学系研究科	2,750,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 東京大学)
妊婦の血清学的なリスク診断法(CMV,トキソ)	池田智明	医学系研究科	481,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 東京大学)
電子顕微鏡による微細構造解析支援	溝口明	医学系研究科	4,140,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構)
ATLに対するT細胞受容体遺伝子導入細胞療法の開発のためのT細胞受容体発現の改善、RS戦略相談および医師主導試験の準備	珠玖洋	医学系研究科	1,950,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(学校法人 自治医科大学)

小計

19件

267,697,736 円

小計

6件

12,528,560 円

合計



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
-------	-------	------	----	----------

271件

927,073,391 円

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Magawa S, Tanaka H, Furuhashi F, et al.	産科婦人科学	A literature review of herpes simplex virus hepatitis in pregnancy	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine. 2020 May	Case report
2	Fukuoka S, Fujimoto N, Dohi K, et al.	循環器・腎臓内科学	Echocardiographic changes in diastolic filling and stroke volume during postural alterations and ankle exercise in a patient with congenital defect of the pericardium	Journal of Echocardiography. 2019 Feb 6.	Case report
3	Okugawa Y, Toyama Y, Yamamoto A, et al.	ゲノム医療部	Lymphocyte-to-C-reactive protein ratio and score are clinically feasible nutrition-inflammation markers of outcome in patients with gastric cancer	Clinical Nutrition. 2020 Apr.	Original Article
4	Tsugiyama LE, Ida-Eto M, Ohkawara T, et al.	発生再生医学	Altered neuronal activity in the auditory brainstem following sound stimulation in thalidomide-induced autism model rats	Congenital Anomalies (Kyoto). 2020 May.	Original Article
5	Fujimoto N, Moriwaki K, Takeuchi T, et al.	循環器・腎臓内科学	Effects of sitagliptin on exercise capacity and hemodynamics in patients with type 2 diabetes mellitus and coronary artery disease	Heart Vessels. 2020 May.	Original Article
6	Hirano K, Tokui T, Nakamura B, et al.	胸部心臓血管外科学	Impact of the Frozen Elephant Trunk Technique on Total Aortic Arch Replacement	Annals of Vascular Surgery. 2020 May.	Original Article
7	Hamada Y, Tanaka K, Horiki N, et al.	消化器内科学	Colonic histoplasmosis resembling early colon cancer	Gastrointestinal Endoscopy. 2020 Apr.	Original Article
8	Kageyama Y, Katayama N	血液・腫瘍内科学	Ontogeny of human B1 cells	International Journal of Hematology. 2020 May.	Review
9	Ito A, Iwashita Y, Esumi R, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Acquired factor XIII deficiency in two patients with bleeding events during veno-venous extracorporeal membrane oxygenation treatment	Journal of Artificial Organs. 2019 Dec 13.	Case report
10	Kajiwara S, Ishii K, Sasaki T, et al.	腎泌尿器外科学	Castration-induced stromal remodeling disrupts the reconstituted prostate epithelial structure	Laboratory Investigation. 2020 May.	Original Article
11	Ide S, Toyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科学	Clinical significance of an increased red blood cell distribution width in patients with rectal cancer undergoing chemoradiotherapy followed by surgery	Surgery Today. 2020 Jun.	Original Article
12	Yukimoto H, Tanaka K, Umeda Y, et al.	光学医療診療部	Esophageal muscle layer tear during endoscopic submucosal dissection treated by polyglycolic acid sheets and fibrin glue	Endoscopy. 2020 Jun.	Original Article
13	Fukuyama K, Fukuzawa M, Shiroyama T, et al.	精神神経科学	Pathogenesis and pathophysiology of autosomal dominant sleep-related hypermotor epilepsy with S284L-mutant $\alpha$ 4 subunit of nicotinic ACh receptor	British Journal of Pharmacology. 2020 May.	Original Article
14	Takafuji M, Kitagawa K, Ishida M, et al.	放射線医学	Myocardial Coverage and Radiation Dose in Dynamic Myocardial Perfusion Imaging Using Third-Generation Dual-Source CT	Korean Journal of Radiology. 2020 Jan.	Original Article
15	Toba S, Mitani Y, Yodoya N, et al.	胸部心臓血管外科学	Prediction of Pulmonary to Systemic Flow Ratio in Patients With Congenital Heart Disease Using Deep Learning-Based Analysis of Chest Radiographs	JAMA Cardiology. 2020 Jan 22.	Original Article
16	Ishihara M, Tono Y, Miyahara Y, et al.	がんセンター	First-in-human phase I clinical trial of the NY-ESO-1 protein cancer vaccine with NOD2 and TLR9 stimulants in patients with NY-ESO-1-expressing refractory solid tumors	Cancer Immunology, Immunotherapy. 2020 Apr.	Original Article
17	Sawaki A, Miyazaki K, Yamaguchi M, et al.	血液・腫瘍内科学	Genetic polymorphisms and vincristine-induced peripheral neuropathy in patients treated with rituximab, cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine, and prednisone therapy	International Journal of Hematology. 2020 May.	Original Article
18	Nishimura A, Kato K, Nakazora S, et al.	スポーツ整形外科学	Endoscopic peroneal retinaculum repair for recurrent peroneal tendon dislocation enables earlier return to sports than the open procedure	Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy. 2020 Feb 6.	Original Article
19	Kondo M, Suzuki K, Nakayama Y, et al.	皮膚科学	Case of toxic epidermal necrolysis in immunocompromised patient possibly due to Streptococcus pneumoniae serotype uncovered by vaccine	Journal of Dermatology. 2020 Apr.	Case report
20	Kurita Y, Ichikawa Y, Nakanishi T, et al.	放射線医学	The value of Bayesian penalized likelihood reconstruction for improving lesion conspicuity of malignant lung tumors on (18)F-FDG PET/CT: comparison with ordered subset expectation maximization reconstruction incorporating time-of-flight model and point spread function correction	Annals of Nuclear Medicine. 2020 Apr.	Original Article
21	Takafuji M, Kitagawa K, Nakamura S, et al.	放射線医学	Feasibility of extracellular volume fraction calculation using myocardial CT delayed enhancement with low contrast media administration	Journal of Cardiovascular Computed Tomography. 2020 Feb 15.	Original Article
22	Asayama K, Kobayashi T, D'Alessandro-Gabazza CN, et al.	呼吸器内科学	Protein S protects against allergic bronchial asthma by modulating Th1/Th2 balance	Allergy: European Journal of Allergy and Clinical Immunology. 2020 Mar 7.	Original Article
23	Kobayashi T, Hataji O, Fujimoto H, et al.	呼吸器内科学	Too Premature to Deny the Potential of Thrombomodulin Alfa in Idiopathic Pulmonary Fibrosis	American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine. 2020 Jun 1.	Others
24	Katsurahara M, Umeda Y, Sakuno T, et al.	光学医療診療部	Primary Colorectal Follicular Lymphoma Observed by Magnifying Endoscopy, with a Five-year Follow-up	Internal Medicine. 2020 Jun 1.	Case report

25	Hoshino T, Yonekura H, Nakamori Y, et al.	臨床麻酔部	Early versus late tracheostomy in patients with traumatic brain injury	Intensive Care Medicine. 2020 Jun.	Others
26	Inoue M, Uchida K, Nagano Y, et al.	消化管・小児外科学	Risk factors and intraoral breastmilk application for MRSA colonization in surgical neonates	Pediatrics International. 2020 Mar 11.	Original Article
27	Fukuyama K, Fukuzawa M, Shiroshima T, et al.	精神神経科学	Pathomechanism of nocturnal paroxysmal dystonia in autosomal dominant sleep-related hypermotor epilepsy with S284L-mutant 4 subunit of nicotinic ACh receptor	Biomed Pharmacother. 2020 Jun.	Original Article
28	Matsuyama H, Shindo A, Shimada T, et al.	神経病態内科学	Chronic cerebral hypoperfusion activates AIM2 and NLRP3 inflammasome	Brain Research. 2020 Jun 1.	Original Article
29	Ikejiri K, Suzuki K, Ishikura K, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Endovascular Cooling Catheter-Related Thrombosis After Targeted Temperature Management for Out-of-Hospital Cardiac Arrest: A Case Report	Therapeutic Hypothermia and Temperature Management. 2020 Mar 20.	Original Article
30	Nishida T, Yamada Y	ヒト機能ゲノミクス	RNF4-mediated SUMO-targeted ubiquitination relieves PARIS/ZNF746-mediated transcriptional repression	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2020 May 21.	Original Article
31	Yamamoto N, Eguchi A, Hirokawa Y, et al.	循環器・腎臓内科学(消化器内科学)	Expression Pattern of Plexin Domain Containing 2 in Human Hepatocellular Carcinoma	Monoclonal Antibodies in Immunodiagnosis and Immunotherapy. 2020 Apr.	Original Article
32	Yoshizawa N, Sugimoto K, Tameda M, et al.	消化器内科学	miR-3940-5p/miR-8069 ratio in urine exosomes is a novel diagnostic biomarker for pancreatic ductal adenocarcinoma	Oncology Letters. 2020 Apr;19(4):2677-2684. Epub 2020 Jan 29.	Original Article
33	Koike Y, Li B, Lee C, et al.	消化管・小児外科学	The intestinal injury caused by ischemia-reperfusion is attenuated by amniotic fluid stem cells via the release of tumor necrosis factor-stimulated gene 6 protein	FASEB Journal. 2020 May.	Original Article
34	Sato M, Matsuyama H, Asahi M, et al.	認知症センター	Non-converter mild cognitive impairment with cerebral amyloid angiopathy may be included among persistent amnesic mild cognitive impairment: a case report	Psychogeriatrics. 2020 Mar 31.	Case report
35	Ito H	胸部心臓血管外科学	Global left ventricular afterload matters in left ventricular reverse remodeling after aortic valve replacement	General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 2021 Jan.	Others
36	Hamada Y, Inoue H, Katsurahara M, et al.	消化器内科学	T-lymphoblastic lymphoma initially presenting as massive ascites	Digestive and Liver Disease. 2020 May.	Original Article
37	Fukuoka S, Dohi K, Takeuchi T, et al.	循環器・腎臓内科学	Mechanisms and prediction of short-term natriuretic effect of sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor in heart failure patients coexisting type 2 diabetes mellitus	Heart and Vessels. 2020 Apr 8.	Original Article
38	Ikenoyama Y, Hirasawa T, Ishioka M, et al.	血液・腫瘍内科学	Detecting early gastric cancer: Comparison between the diagnostic ability of convolutional neural networks and endoscopists	Digestive Endoscopy. 2020 Apr 13.	Original Article
39	Esumi R, Yokochi A, Shimaoka M, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Virtual reality as a non-pharmacologic analgesic for fasciotomy wound infections in acute compartment syndrome: a case report	Journal of Medical Case Reports. 2020 Apr 14.	Case report
40	Matsushita K, Inoue M, Nagano Y, et al.	消化管・小児外科学	Safety of double-balloon enteroscopy in postoperative pediatric patients	Pediatrics International. 2020 Sep.	Original Article
41	Umeda Y, Tanaka K, Tsuboi J, et al.	消化器内科学	Small gastric metastases of malignant melanoma mimicking gastric erosion (with video)	Gastrointestinal Endoscopy. 2020 Aug;92(2):423-424. Epub 2020 Apr 13.	Original Article
42	Kanamaru H, Kawakita F, Asada R, et al.	脳神経外科学	Prognostic factors varying with age in patients with aneurysmal subarachnoid hemorrhage	Journal of Clinical Neuroscience. 2020 Jun.	Original Article
43	Imai N, Tawara I, Yamane M, et al.	個別化がん免疫治療学	CD4(+) T cells support polyfunctionality of cytotoxic CD8(+) T cells with memory potential in immunological control of tumor	Cancer Science. 2020 Jun.	Original Article
44	Myint PK, Park EJ, Gaowa A, et al.	分子病態学	Targeted remodeling of breast cancer and immune cell homing niches by exosomal integrins	Diagnostic Pathology. 2020 Apr 18.	Original Article
45	Xu Y, Zhao W, Mo Y, et al.	環境分子医学 / 耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Combination of RERG and ZNF671 methylation rates in circulating cell-free DNA: A novel biomarker for screening of nasopharyngeal carcinoma	Cancer Science. 2020 Apr 23.	Original Article
46	Sugimoto T, Mizuno A, Kishi T, et al.	循環器・腎臓内科学	Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Information for Cardiologists - Systematic Literature Review and Additional Analysis	Circulation Journal. 2020 May 25.	Original Article
47	Mizutani K, Sawada Y, Taniguchi T, et al.	皮膚科学	Multiple tophi and exacerbated psoriatic erythroderma	The Journal of Dermatology. 2020 Jul.	Original Article
48	Sugimoto T, Barletta M, Bandera F, et al.	循環器・腎臓内科学	Central role of left atrial dynamics in limiting exercise cardiac output increase and oxygen uptake in heart failure: insights by cardiopulmonary imaging	European Journal of Heart Failure. 2020 Jul.	Original Article
49	Kuriyama N, Hatanaka T, Gyoten K, et al.	肝胆膵・移植外科学	How to divide the pancreatic parenchyma in patients with a portal annular pancreas: laparoscopic spleen-preserving distal pancreatectomy for serous cystic neoplasms	Surgical Case Reports. 2020 May 1.	Original Article
50	Urano K, Ishibashi M, Matsumoto T, et al.	薬剤部	Impact of physician-pharmacist collaborative protocol-based pharmacotherapy management for HIV outpatients: a retrospective cohort study	Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences. 2020 May 1;6:9. eCollection 2020.	Original Article
51	Okada K, Matsushima Y, Mizutani K, et al.	皮膚科学	The Role of Gut Microbiome in Psoriasis: Oral Administration of Staphylococcus aureus and Streptococcus danieliae Exacerbates Skin Inflammation of Imiquimod-Induced Psoriasis-Like Dermatitis	International Journal of Molecular Sciences. 2020 May 7.	Original Article

52	Kuriyama N, Usui M, Gyoten K, et al.	肝胆膵・移植外科学	Neoadjuvant chemotherapy followed by curative-intent surgery for perihilar cholangiocarcinoma based on its anatomical resectability classification and lymph node status	BMC Cancer. 2020 May 11.	Original Article
53	Mizutani K, Shirakami E, Ichishi M, et al.	皮膚科学	Systemic Dermatitis Model Mice Exhibit Atrophy of Visceral Adipose Tissue and Increase Stromal Cells via Skin-Derived Inflammatory Cytokines	International Journal of Molecular Sciences. 2020 May 9.	Original Article
54	Maki S, Kato I, Enomoto N, et al.	産科婦人科学	Developmental Evaluation of Infants Who Have Received Tadalafil in Utero for Fetal Growth Restriction	Journal of Clinical Medicine. 2020 May 13.	Original Article
55	Takayama E, Tanaka H, Kamimoto Y, et al.	産科婦人科学	Relationship between a high Edinburgh Postnatal Depression Scale score and premenstrual syndrome: A prospective, observational study	Taiwan J Obstet Gynecol. 2020 May;59(3):356-360. doi: 10.1016/j.tjog.2020.03.003.	Original Article
56	Morimoto S, Ishikawa M, Watanabe H, et al.	腫瘍病理学	Brain Transcriptome Analysis Links Deficiencies of Stress-Responsive Proteins to the Pathomechanism of Kii ALS/PDC	Antioxidants (Basel). 2020 May 14;9(5):423.	Original Article
57	Yukimoto H, Miyamoto T, Kiyono T, et al.	分子生理学	A novel CDK-independent function of p27(Kip1) in preciliary vesicle trafficking during ciliogenesis	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Jun 30;527(3):716-722. Epub 2020 May 16.	Original Article
58	Wakabayashi H, Miyamura G, Nagao N, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Functional Block of Interleukin-6 Reduces a Bone Pain Marker but Not Bone Loss in Hindlimb-Unloaded Mice	Int J Mol Sci. 2020 May 15;21(10):3521.	Original Article
59	Shindo A, Ishikawa H, Ii Y, et al.	神経病態内科学	Clinical Features and Experimental Models of Cerebral Small Vessel Disease	Front Aging Neurosci. 2020 May 5;12:109. eCollection 2020.	Review
60	Fukuyama K, Fukuzawa M, Okada M.	精神神経科学	Upregulated and Hyperactivated Thalamic Connexin 43 Plays Important Roles in Pathomechanisms of Cognitive Impairment and Seizure of Autosomal Dominant Sleep-Related Hypermotor Epilepsy with S284L-Mutant $\alpha$ 4 Subunit of Nicotinic ACh Receptor	Pharmaceuticals (Basel). 2020 May 18;13(5):99.	Original Article
61	Kobayashi H, Murata M, Kawanishi S, et al.	環境分子医学	Polyphenols with Anti-Amyloid Aggregation Show Potential Risk of Toxicity Via Pro-Oxidant Properties	Int J Mol Sci. 2020 May 18;21(10):3561.	Review
62	Mizutani K, Isono K, Matsushima Y, et al.	皮膚科学	Inflammatory Skin-Derived Cytokines Accelerate Osteoporosis in Mice with Persistent Skin Inflammation	Int J Mol Sci. 2020 May 20;21(10):3620.	Original Article
63	Kuriyama N, Kazuaki G, Hayasaki A, et al.	肝胆膵・移植外科学	Surgical Procedures of Portal Vein Reconstruction for Recipients With Portal Vein Thrombosis in Adult-to-Adult Living Donor Liver Transplantation	Transplant Proc. 2020 Jul-Aug;52(6):1802-1806. Epub 2020 May 21.	Original Article
64	Hiramatsu SI, Ikemura K, Fujisawa Y, et al.	薬剤部	Concomitant lansoprazole ameliorates cisplatin-induced nephrotoxicity by inhibiting renal organic cation transporter 2 in rats	Biopharm Drug Dispos. 2020 Jun;41(6):239-247. Epub 2020 Jun 25.	Original Article
65	Kondo M, Matsushima Y, Mizutani K, et al.	皮膚科学	Case of Japanese spotted fever infected 2 consecutive years	J Dermatol. 2020 Aug;47(8):e310-e311. doi: 10.1111/1346-8138.15430. Epub 2020 Jun 1.	Original Article
66	Okada T, Suzuki H, Travis ZD, et al.	脳神経外科学	The Stroke-Induced Blood-Brain Barrier Disruption: Current Progress of Inspection Technique, Mechanism, and Therapeutic Target	Current Neuropharmacology. 2020.	Original Article
67	Kato D, Kataoka Y, Suwangto EG, et al.	病理部	Reporting Guidelines for Community-Based Participatory Research Did Not Improve the Reporting Quality of Published Studies: A Systematic Review of Studies on Smoking Cessation	Int J Environ Res Public Health. 2020 May 31;17(11):3898.	Original Article
68	Kato T, Mitani Y, Masuya M, et al.	小児科	A non-selective endothelin receptor antagonist bosentan modulates kinetics of bone marrow-derived cells in ameliorating pulmonary hypertension in mice	Pulm Circ. 2020 May 14;10(2):2045894020919355. eCollection 2020 Apr-Jun.	Original Article
69	Asanuma K, Nakamura T, Hayashi A, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Soluble programmed death-ligand 1 rather than PD-L1 on tumor cells effectively predicts metastasis and prognosis in soft tissue sarcomas	Sci Rep. 2020 Jun 3;10(1):9077.	Original Article
70	Wada H, Shiraki K, Shimaoka M.	検査医学	The prothrombin time ratio is not a more effective marker for evaluating sepsis-induced coagulopathy than fibrin-related markers	J Thromb Haemost. 2020 Jun;18(6):1506-1507.	Others
71	Nakao M, Okumura A, Hasegawa J, et al.	産科婦人科学	Fetal heart rate pattern in term or near-term cerebral palsy: a nationwide cohort study	Am J Obstet Gynecol. 2020 Dec;223(6):907.e1-907.e13. Epub 2020 Jun 1.	Original Article
72	Ito H, Ishida M, Makino W, et al.	放射線医学	Cardiovascular magnetic resonance feature tracking for characterization of patients with heart failure with preserved ejection fraction: correlation of global longitudinal strain with invasive diastolic functional indices	J Cardiovasc Magn Reson. 2020 Jun 4;22(1):42.	Original Article
73	Yasuda R, Toma N, Suzuki Y, et al.	脳神経外科学	Novel triple coaxial system to navigate 9 French balloon guiding catheter into common carotid artery	Interv Neuroradiol. 2020 Dec;26(6):719-724. Epub 2020 Jun 5.	Original Article
74	Kato J, Tsujii M, Kitaura Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Surgical Treatment for Delayed Ulnar Carpometacarpal Fracture-Dislocations	Journal of Wrist Surgery. 2020 Jun.	Case report
75	Fukuyama K, Ueda Y, Okada M.	精神神経科学	Effects of Carbamazepine, Lacosamide and Zonisamide on Gliotransmitter Release Associated with Activated Astroglial Hemichannels	Pharmaceuticals (Basel). 2020 Jun 5;13(6):117. doi: 10.3390/ph13060117.	Original Article
76	Kusafuka T, Kato H, Iizawa Y, et al.	肝胆膵・移植外科学	Pancreas-visceral fat CT value ratio and serrated pancreatic contour are strong predictors of postoperative pancreatic fistula after pancreaticojejunostomy	BMC Surg. 2020 Jun 11;20(1):129.	Original Article
77	Sakano S, Matsuyama H, Ishikawa H, et al.	神経病態内科学	Myasthenia gravis with anti-muscle-specific tyrosine kinase antibodies during therapy for multiple myeloma: a case report	BMC Neurol. 2020 Jun 12;20(1):240.	Case report
78	Eguchi A, Yan R, Pan SQ, et al.	消化器内科学	Comprehensive characterization of hepatocyte-derived extracellular vesicles identifies direct miRNA-based regulation of hepatic stellate cells and DAMP-based hepatic macrophage IL-1 and IL-17 upregulation in alcoholic hepatitis mice	J Mol Med (Berl)	Original Article

79	Wada H, Shiraki K, Matsumoto T, et al.	検査医学	Effects of platelet and phospholipids on clot formation activated by a small amount of tissue factor	Thromb Res. 2020 Sep;193:146-153. Epub 2020 Jun 10.	Original Article
80	Wang G, Ma N, He F, et al.	環境分子医学	Taurine Attenuates Carcinogenicity in Ulcerative Colitis-Colorectal Cancer Mouse Model	Oxid Med Cell Longev. 2020 May 20;2020:7935917. eCollection 2020.	Original Article
81	Omura Y, Toiyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科学	Prognostic impacts of tumoral expression and serum levels of PD-L1 and CTLA-4 in colorectal cancer patients	Cancer Immunol Immunother. 2020 Dec;69(12):2533-2546. . Epub 2020 Jun 23.	Original Article
82	Matsui Y, Miyata R, Uchiyama E, et al.	眼科学	Misalignment of foveal pit and foveal bulge determined by ultrahigh-resolution SD-OCT in normal eyes	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2020 Oct;258(10):2131-2139. Epub 2020 Jun 23.	Original Article
83	Suwannakul N, Ma N, Midorikawa K, et al.	環境分子医学	CD44v9 Induces Stem Cell-Like Phenotypes in Human Cholangiocarcinoma	Front Cell Dev Biol. 2020 Jun 3;8:417. eCollection 2020.	Original Article
84	Ishihara M, Kageyama S, Miyahara Y, et al.	がんセンター	MAGE-A4, NY-ESO-1 and SAGE mRNA expression rates and co-expression relationships in solid tumours	BMC Cancer. 2020 Jun 29;20(1):606.	Original Article
85	Ahmed S, Kobayashi H, Afroz T, et al.	環境分子医学	Nitrative DNA damage in lung epithelial cells exposed to indium nanoparticles and indium ions	Sci Rep. 2020 Jul 1;10(1):10741. doi: 10.1038/s41598-020-67488-3.	Original Article
86	Wada H, Shiraki K, Shimaoka M.	検査医学	Errors in the diagnosis for DIC due to a statistical misunderstanding	J Thromb Haemost. 2020 Jul;18(7):1791-1792.	Others
87	Okada M, Fukuyama K.	精神神経科学	Interaction between Mesocortical and Mesothalamic Catecholaminergic Transmissions Associated with NMDA Receptor in the Locus Coeruleus	Biomolecules. 2020 Jul 1;10(7):990.	Original Article
88	Matsuda K, Satoh M, Tabei KI, et al.	リハビリテーション部	Impairment of intermediate somatosensory function in corticobasal syndrome	Sci Rep. 2020 Jul 7;10(1):11155.	Original Article
89	Ito T, Okamoto R, Matsuda A, et al.	循環器・腎臓内科学	Acute Pulmonary Thromboembolism in a Patient with Nutcracker Syndrome and Antiphospholipid Syndrome	Int Heart J. 2020 Jul 30;61(4):856-858. Epub 2020 Jul 8.	Case report
90	Kusunoki K, Toiyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科学	The advanced lung cancer inflammation index predicts outcomes in patients with Crohn's disease after surgical resection	Colorectal Dis. 2021 Jan;23(1):84-93. Epub 2020 Aug 11.	Original Article
91	Kato D, Kozuka Y, Noro A, et al.	病理部	Tenascin-C Induces Phenotypic Changes in Fibroblasts to Myofibroblasts with High Contractility through the Integrin $\alpha 7 \beta 1$ /Transforming Growth Factor $\beta 4$ /SMAD Signaling Axis in Human Breast Cancer	Am J Pathol. 2020 Jul 8:S0002-9440(20)30329-1. Online ahead of print.	Original Article
92	Shiba M, Toma N, Ikezawa M, et al.	脳神経外科学	Intracranial-Intracranial Bypass Using a Y-Shaped Artery Graft for Growing Unruptured Gemella morbillorum Infectious Aneurysm on Artery Supplying Sensory Cortex	World Neurosurg. 2020 Oct;142:328-333. Epub 2020 Jul 17.	Case report
93	Fujii S, Motomura E, Inui K, et al.	中央検査部	Weaker prepulse exerts stronger suppression of a change-detecting neural circuit	Neurosci Res. 2020 Jul 21:S0168-0102(20)30407-7. Online ahead of print.	Original Article
94	Nagaharu K, Izumi T, Ueda M, et al.	血液・腫瘍内科学	High expression of c-Myc in chronic lymphocytic leukaemia with t(8;14)(q24.1;q32): A case report	Leuk Res. 2020 Sep;96:106424. Epub 2020 Jul 16.	Case report
95	Toiyama Y, Kusunoki M.	消化管・小児外科学	Changes in surgical therapies for rectal cancer over the past 100 years: A review	Ann Gastroenterol Surg. 2020 May 10;4(4):331-342. eCollection 2020 Jul.	Review
96	Hattori T, Tsujii M, Uemura T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Arthroscopic resection of a loose body in the inextensible metacarpophalangeal joint of the middle finger complicated with osteoarthritis: A case report	SAGE Open Med Case Rep. 2020 Jul 21;8:2050313X20943773. eCollection 2020.	Case report
97	Morimoto M, Sawada H, Yodaya N, et al.	小児科	Refractory Ileal Perforations in a Cytomegalovirus-Infected Premature Neonate Resolved After Ganciclovir Therapy	Front Pediatr. 2020 Jul 14;8:352. eCollection 2020.	Case report
98	Shindo A, Tabei KI, Taniguchi A, et al.	神経病態内科学	A Nationwide Survey and Multicenter Registry-Based Database of Cerebral Autosomal Dominant Arteriopathy With Subcortical Infarcts and Leukoencephalopathy in Japan	Front Aging Neurosci. 2020 Jul 14;12:216. doi: 10.3389/fnagi.2020.00216. eCollection 2020.	Original Article
99	Yin C, Toiyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科学	Clinical significance of advanced lung cancer inflammation index, a nutritional and inflammation index, in gastric cancer patients after surgical resection: A propensity score matching analysis	Clin Nutr. 2021 Mar;40(3):1130-1136. . Epub 2020 Jul 21.	Original Article
100	Shigefuku R, Iwasa M, Eguchi A, et al.	消化器内科学	Serum copeptin level is a biomarker associated with ascites retention and the formation of a portosystemic shunt in chronic liver disease	J Gastroenterol Hepatol. 2020 Aug 13. doi: 10.1111/jgh.15215. Online ahead of print.	Original Article
101	Kato K, Sugawara A, Nagashima R, et al.	眼科学	Case of lens-induced uveitis associated with supernormal flicker ERG amplitudes after cataract surgery	Doc Ophthalmol. 2020 Aug 17. Online ahead of print.	Original Article
102	Kitajima T, Okita Y, Kawamura M, et al.	消化管・小児外科学	The relationship between preoperative T helper cytokines in the ileal mucosa and the pathogenesis of pouchitis	BMC Gastroenterol. 2020 Aug 18;20(1):277.	Original Article
103	Kuze M, Ayaki M, Yuki K, et al.	眼科学	Seasonal variation of intra-ocular pressure in glaucoma with and without dry eye	Sci Rep. 2020 Aug 18;10(1):13949.	Original Article
104	Hamada Y, Tanaka K.	消化器内科学	Intestinal endometriosis in a 36-year-old woman	CMAJ. 2020 Aug 17;192(33):E960.	Case report
105	Shiromizu T, Yuge M, Kasahara K, et al.	統合薬理学	Targeting E3 Ubiquitin Ligases and Deubiquitinases in Ciliopathy and Cancer	Int J Mol Sci. 2020 Aug 19;21(17):5962.	Review

小計27件

106	Umaoka A, Takeuchi H, Mizutani K, et al.	皮膚科学	Skin Inflammation and Testicular Function: Dermatitis Causes Male Infertility via Skin-Derived Cytokines	Biomedicines. 2020 Aug 20;8(9):293.	Original Article
107	Katsurahara M, Umeda Y, Horiki N, et al.	光学医療診療部	A Fish Bone Migrating into the Peritoneal Cavity	Intern Med. 2020 Dec 15;59(24):3243-3244. Epub 2020 Aug 22.	Original Article
108	Imanaka-Yoshida K, Tawara I, Yoshida T.	修復再生病理学	Tenascin-C in cardiac disease: a sophisticated controller of inflammation, repair, and fibrosis	Am J Physiol Cell Physiol. 2020 Nov 1;319(5):C781-C796. Epub 2020 Aug 26.	Review
109	Okada M, Hasegawa T, Kato R, et al.	精神神経科学	Analysing regional unemployment rates, GDP per capita and financial support for regional suicide prevention programme on suicide mortality in Japan using governmental statistical data	BMJ Open. 2020 Aug 27;10(8):e037537.	Original Article
110	Kanayama K, Imai H, Usugi E, et al.	腫瘍病理学	Cancer-related gene mutations and intratumoral genetic heterogeneity in human epidermal growth factor receptor 2 heterogeneous gastric cancer	Pathol Int. 2020 Nov;70(11):865-870. Epub 2020 Sep 1.	Original Article
111	Xu DQ, Yuan XJ, Hirayama M, et al.	小児科	Huaier Extract Induces Apoptosis in Hepatoblastoma Cells Via the MEK/ERK Signaling Pathway	In Vivo. 2020 Sep-Oct;34(5):2381-2388.	Original Article
112	Murakami H, Fujimoto N, Moriwaki K, et al.	循環器・腎臓内科学	Serial cardiac magnetic resonance imaging in wet beriberi	J Cardiol Cases. 2020 Jun 6;22(3):100-102. eCollection 2020 Sep.	Case report
113	Tagawa T, Sakuraba S.	臨床麻酔部	Acute massive pulmonary embolism treated by urgent pulmonary embolectomy: A case report	Clin Case Rep. 2020 May 3;8(8):1502-1505. eCollection 2020 Aug.	Case report
114	Chujo S, Sugimoto M, Sasaki T, et al.	眼科学	Comparison of 2-Year Outcomes between Intravitreal Ranibizumab and Intravitreal Afibercept for Diabetic Macular Edema with "Treat-and-Extend" Regimen-Its Usefulness and Problems	J Clin Med. 2020 Sep 2;9(9):2848.	Original Article
115	Suzuki Y, Toma N, Kuroda Y, et al.	脳神経外科学	Dural Arteriovenous Fistula Formation as Eagle Jugular Syndrome: A Case Report and Literature Review	World Neurosurg. 2020 Dec;144:154-161. Epub 2020 Sep 3.	Case report
116	Ogawa S, Hayashi K, Nakao H, et al.	看護学専攻	Factors that Associate Japanese University Students' Use of Rear Seat Belts on General Roads and Expressways	J Community Health. 2020 Sep 10. Online ahead of print.	Original Article
117	Matsushima Y, Mizutani K, Goto H, et al.	皮膚科学	Emaciation, Congestive Heart Failure, and Systemic Amyloidosis in Severe Recessive Dystrophic Epidermolysis Bullosa: Possible Internal Complications Due to Skin-Derived Inflammatory Cytokines Derived from the Injured Skin	Dermatopathology (Basel). 2020 Sep 14;7(2):41-47.	Case report
118	Komatsubara H, Kato H, Noguchi D, et al.	肝胆膵・移植外科学	Protruded duodenal tumor arising from Santorini's duct of the pancreas: a rare case of intraductal papillary mucinous neoplasm mimicking a duodenal polypoid tumor	BMC Gastroenterol. 2020 Sep 16;20(1):303.	Case report
119	Mizutani K, Nakanishi T, Ikejiri M, et al.	皮膚科学	Development of cutaneous squamous cell carcinoma during pembrolizumab therapy	J Dermatol. 2021 Jan;48(1):e7-e8. Epub 2020 Sep 17.	Original Article
120	Chipaila J, Kato H, Iizawa Y, et al.	肝胆膵・移植外科学	Prolonged operating time is a significant perioperative risk factor for arterial pseudoaneurysm formation and patient death following hemorrhage after pancreaticoduodenectomy	Pancreatol. 2020 Oct;20(7):1540-1549. doi: 10.1016/j.pan.2020.08.021. Epub 2020 Sep 1.	Original Article
121	Naito Y, Hasegawa M, Tone S, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Minimum 10-Year Follow-Up of Cementless Total Hip Arthroplasty With a 32-mm Cobalt-Chromium Head on Highly Cross-Linked Polyethylene and a Tapered, Fiber Metal Proximally Coated Femoral Stem	J Arthroplasty. 2021 Feb;36(2):647-652. Epub 2020 Aug 31.	Original Article
122	Oda H, Mizuno T, Ikejiri M, et al.	血液・腫瘍内科学	Risk factors for cisplatin-induced acute kidney injury: A pilot study on the usefulness of genetic variants for predicting nephrotoxicity in clinical practice	Mol Clin Oncol. 2020 Nov;13(5):58. Epub 2020 Sep 1.	Original Article
123	Tone S, Hasegawa M, Naito Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Raman spectroscopy reveals creep and wear rate of e-beam-sterilized conventional UHMWPE tibial inserts	J Mech Behav Biomed Mater. 2020 Oct;110:103902. Epub 2020 Jun 10.	Original Article
124	Yamada A., Kitagawa K., Nakamura S., et al.	放射線医学	Quantification of extracellular volume fraction by cardiac computed tomography for noninvasive assessment of myocardial fibrosis in hemodialysis patients	Scientific Reports. 2020 Sep 21.	Original Article
125	Hirokawa YS, Kanayama K, Kagaya M, et al.	腫瘍病理学	SOX11-induced decrease in vimentin and an increase in prostate cancer cell migration attributed to cofilin activity	Exp Mol Pathol. 2020 Dec;117:104542. Epub 2020 Sep 21.	Original Article
126	Sakuma H.	放射線医学	Editorial for "Evaluation of Vascular Reactivity of Maternal Vascular Adaptations of Pregnancy With Quantitative MRI"	J Magn Reson Imaging. 2021 Feb;53(2):456-457. Epub 2020 Sep 28.	Others
127	Okada M, Fukuyama K, Shiroyama T, et al.	精神神経科学	A Working Hypothesis Regarding Identical Pathomechanisms between Clinical Efficacy and Adverse Reaction of Clozapine via the Activation of Connexin43	Int J Mol Sci. 2020 Sep 24;21(19):7019.	Review
128	Suimon H, Sugimoto M, Matsubara H, et al.	眼科学	Effectiveness of Ripasudil, a Rho-Associated Coiled/Coil-Containing Protein Kinase Inhibitor, in Improving Retinoschisis and Cystic-Like Foveal Cavities in Eyes with X-Linked Retinoschisis	Case Reports in Ophthalmology 2020 Aug 6.	Case report
129	Koike Y, Li B, Ganji N, et al.	消化管・小児外科学	Remote ischemic conditioning counteracts the intestinal damage of necrotizing enterocolitis by improving intestinal microcirculation	Nat Commun. 2020 Oct 2;11(1):4950.	Original Article
130	Tani K, Kanno R, Makino Y, et al.	個別化がん免疫治療学	Cryo-EM structure of a Ca(2+)-bound photosynthetic LH1-RC complex containing multiple -polypeptides	Nat Commun. 2020 Oct 2;11(1):4955.	Original Article
131	Asanuma K, Nakamura T, Asanuma Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Prognostic Significance of Thrombomodulin mRNA in High-Grade Soft Tissue Sarcomas after 10years	Orthop Surg. 2020 Dec;12(6):1726-1732. Epub 2020 Oct 4.	Original Article
132	Nakajima A, Sakai R, Inoue E, et al.	リウマチ・膠原病センター	Prevalence of patients with rheumatoid arthritis and age-stratified trends in clinical characteristics and treatment, based on the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan	Int J Rheum Dis. 2020 Dec;23(12):1676-1684. Epub 2020 Oct 5.	Original Article

小計27件

133	Ishitobi M, Matsuda N, Tazo M, et al.	乳腺外科	Risk Factors for Ipsilateral Breast Tumor Recurrence in Triple-Negative or HER2-Positive Breast Cancer Patients Who Achieve a Pathologic Complete Response After Neoadjuvant Chemotherapy	Ann Surg Oncol. 2021 May;28(5):2545-2552. Epub 2020 Oct 6.	Original Article
134	Watanabe Y, Nakamura S, Ichikawa Y, et al.	放射線医学	Early alteration in apparent diffusion coefficient and tumor volume in cervical cancer treated with chemoradiotherapy or radiotherapy: Incremental prognostic value over pretreatment assessments	Radiother Oncol. 2021 Feb;155:3-9. Epub 2020 Oct 8.	Original Article
135	Mori Y, Oikawa S, Kurimoto S, et al.	環境分子医学	Proteomic analysis of the monkey hippocampus for elucidating ischemic resistance	J Clin Biochem Nutr. 2020 Sep;67(2):167-173. Epub 2020 Apr 9.	Original Article
136	Ishitobi M, Hayashi N.	乳腺外科	ASO Author Reflections: What will be Required to Safely Omit Breast Surgery for Early-Stage Breast Cancer?	Ann Surg Oncol. 2021 May;28(5):2553-2554. Epub 2020 Oct 12.	Original Article
137	Ito H, Bessho S, Yamamoto N, et al.	胸部心臓血管外科学	Venopulmonary artery extracorporeal lung assist in repair of traumatic aortic injury via left thoracotomy	J Card Surg. 2020 Dec;35(12):3575-3577. Epub 2020 Oct 12.	Case report
138	Akama Y, Satoh-Takayama N, Kawamoto E, et al.	分子病態学	The Role of Innate Lymphoid Cells in the Regulation of Immune Homeostasis in Sepsis-Mediated Lung Inflammation	Diagnostics (Basel). 2020 Oct 12;10(10):808.	Review
139	Miyazaki K, Asano N, Yamada T, et al.	血液・腫瘍内科学	DA-EPOCH-R combined with high-dose methotrexate in patients with newly diagnosed stage II-IV CD5-positive diffuse large B-cell lymphoma: a single-arm, open-label, phase II study	Haematologica. 2020 Sep 1;105(9):2308-2315.	Original Article
140	Shigefuku R, Iwasa M, Yoshikawa K, et al.	消化器内科学	A Rare Presentation of Intraabdominal Ectopic Varices Rupture	Intern Med. 2021 Mar 15;60(6):959-960. Epub 2020 Oct 14.	Case report
141	Kondo E, Tabata T, Suzuki N, et al.	産科婦人科学	The post-progression survival of patients with recurrent or persistent ovarian clear cell carcinoma: results from a randomized phase III study in JGOG3017/GCIG	J Gynecol Oncol. 2020 Nov;31(6):e94.	Original Article
142	Kawaguchi K, Akeda K, Takegami N, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Cervical schwannoma in the early stage of pregnancy: a case report	BMC Surg. 2020 Oct 20;20(1):245.	Case report
143	Fujiwara T, Kobayashi T, Yasuma T, et al.	呼吸器内科学	De Novo T790M Mutation in an L858R Epidermal Growth Factor Receptor Mutant-Associated Lung Adenocarcinoma	Cancers (Basel). 2020 Oct 21;12(10):3074.	Original Article
144	Ii Y, Ishikawa H, Shindo A, et al.	神経病態内科学	Association between cortical microinfarcts and total small vessel disease burden in cerebral amyloid angiopathy on 3-Tesla magnetic resonance imaging	Eur J Neurol. 2021 Mar;28(3):794-799. Epub 2020 Nov 27.	Original Article
145	Hasegawa M, Yoshida T, Sudo A.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Tenascin-C in Osteoarthritis and Rheumatoid Arthritis	Front Immunol. 2020 Sep 30;11:577015. eCollection 2020.	Review
146	Goto M, Matsumine A, Yamaguchi S, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Osteoconductivity of bioactive Ti-6Al-4V implants with lattice-shaped interconnected large pores fabricated by electron beam melting	J Biomater Appl. 2021 Apr;35(9):1153-1167. Epub 2020 Oct 26.	Original Article
147	Noguchi D, Kuriyama N, Hibi T, et al.	肝胆膵・移植外科学	The Impact of Dabigatran Treatment on Sinusoidal Protection Against Hepatic Ischemia/Reperfusion Injury in Mice	Liver Transpl. 2021 Feb;27(3):363-384. Epub 2020 Dec 9.	Original Article
148	Okada M, Kawano Y, Fukuyama K, et al.	精神神経科学	Candidate Strategies for Development of a Rapid-Acting Antidepressant Class That Does Not Result in Neuropsychiatric Adverse Effects: Prevention of Ketamine-Induced Neuropsychiatric Adverse Reactions	Int J Mol Sci. 2020 Oct 26;21(21):7951.	Review
149	Nakamura T, Asanuma K, Hagi T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Clinical Outcome of Systemic Treatment for Advanced Soft Tissue Sarcoma: Real-Life Perspective in Japan	Drug Des Devel Ther. 2020 Oct 12;14:4215-4220. eCollection 2020.	Original Article
150	Nakamura T, Sugaya J, Naka N, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Standard Treatment Remains the Recommended Approach for Patients with Bone Sarcoma Who Underwent Unplanned Surgery: Report from the Japanese Musculoskeletal Oncology Group	Cancer Manag Res. 2020 Oct 12;12:10017-10022. eCollection 2020.	Original Article
151	Mori K, Toiyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科学	Preoperative heat shock protein 47 levels identify colorectal cancer patients with lymph node metastasis and poor prognosis	Oncol Lett. 2020 Dec;20(6):333. Epub 2020 Oct 7.	Original Article
152	Tanemura A, Mizuno S, Hayasaki A, et al.	肝胆膵・移植外科学	Onodera's prognostic nutritional index is a strong prognostic indicator for patients with hepatocellular carcinoma after initial hepatectomy, especially patients with preserved liver function	BMC Surg. 2020 Oct 31;20(1):261.	Original Article
153	Kitamura Y, Mise N, Mori Y, et al.	環境分子医学	Proteomic identification of the proteins related to cigarette smoke-induced cardiac hypertrophy in spontaneously hypertensive rats	Sci Rep. 2020 Nov 2;10(1):18825.	Original Article
154	Okita Y, Ohi M, Kitajima T, et al.	消化管・小児外科学	Clinical Discrimination of Chronic Pouchitis After Ileal Pouch-Anal Anastomosis in Patients with Ulcerative Colitis	J Gastrointest Surg. 2020 Nov 2. Online ahead of print.	Original Article
155	Fukuyama K, Okada M.	精神神経科学	Age-Dependent and Sleep/Seizure-Induced Pathomechanisms of Autosomal Dominant Sleep-Related Hypermotor Epilepsy	Int J Mol Sci. 2020 Oct 30;21(21):8142.	Original Article
156	Hagi T, Nakamura T, Hasegawa T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Cases of abdominal wall endometriosis distinguished from soft tissue tumors: A report of three cases	Biomed Rep. 2020 Dec;13(6):64. Epub 2020 Oct 20.	Original Article
157	Shiba M, Suzuki H.	脳神経外科学	In Reply to the Letter to the Editor Regarding "Intracranial-Intracranial Bypass Using a "Y"-Shaped Artery Graft for Growing Unruptured Gemella morbillorum Infectious Aneurysm on Artery Supplying Sensory Cortex"	World Neurosurg. 2020 Nov;143:598.	Others
158	Takasaki A, Kurita T, Masuda J, et al.	循環器・腎臓内科学	Prevalence and Prognosis of Familial Hypercholesterolemia in Patients With Acute Coronary Syndrome in Mie Prefecture, Japan - Report From Mie ACS Registry	Circ J. 2020 Dec 25;85(1):9-18. Epub 2020 Nov 12.	Original Article
159	Hagi T, Nakamura T, Kita K, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Anti-tumour effect of tocilizumab on osteosarcoma cell lines	Bone Joint Res. 2020 Nov;9(11):821-826.	Original Article

160	Appiah MG, Park EJ, Darkwah S, et al.	分子病態学	Intestinal Epithelium-Derived Luminally Released Extracellular Vesicles in Sepsis Exhibit the Ability to Suppress TNF- $\alpha$ and IL-17A Expression in Mucosal Inflammation	Int J Mol Sci. 2020 Nov 10;21(22):8445.	Original Article
161	Al Hawi Y, Nagao M, Furuya K, et al.	小児科	Agreement Between Predictive, Allergen-Specific IgE Values Assessed by ImmunoCAP and IMMULITE 2000 3gAllergy™ Assay Systems for Milk and Wheat Allergies	Allergy Asthma Immunol Res. 2021 Jan;13(1):141-153.	Original Article
162	Kita K, Nakamura T, Nakamura K, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Deep vein thrombosis of the upper extremity caused by central venous port in a patient with soft tissue sarcoma: A case report	Mol Clin Oncol. 2020 Dec;13(6):89. d Epub 2020 Oct 23.	Original Article
163	Park EJ, Myint PK, Ito A, et al.	分子病態学	Integrin-Ligand Interactions in Inflammation, Cancer, and Metabolic Disease: Insights Into the Multifaceted Roles of an Emerging Ligand Irisin	Front Cell Dev Biol. 2020 Oct 26;8:588066. eCollection 2020.	Review
164	Nishihama K, Yano Y, Yasuma T, et al.	糖尿病・内分泌内科	Missed diagnosis and delayed treatment of acromegaly in a patient with severe diabetes: A case report	Exp Ther Med. 2020 Dec;20(6):264. Epub 2020 Oct 27.	Original Article
165	Takegami N, Akeda K, Murata K, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Association between non-traumatic vertebral fractures and adjacent discs degeneration: a cross-sectional study and literature review	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Nov 27;21(1):781.	Review
166	Kato M, Sasaki T, Inoue T.	腎泌尿器外科学	Current experimental human tissue-derived models for prostate cancer research	Int J Urol. 2021 Feb;28(2):150-162. Epub 2020 Nov 27.	Review
167	Haya MAN, Ichikawa S, Shibagaki Y, et al.	家庭医療学	The "Healthy Akame!" community - government - university collaboration for health: a community-based participatory mixed-method approach to address health issue in rural Japan	BMC Health Serv Res. 2020 Nov 30;20(1):1100.	Original Article
168	Ichikawa T, Yasuda R, Maeda M, et al.	脳神経外科学	A Case of Miyazaki Syndrome Caused by Arachnoid Cyst-Peritoneal Shunt	World Neurosurg. 2021 Feb;146:85-89. Epub 2020 Oct 23.	Case report
169	Kawamoto E, Ito-Masui A, Esumi R, et al.	救命救急・総合集中治療センター / 分子病態学	Social Network Analysis of Intensive Care Unit Health Care Professionals Measured by Wearable Sociometric Badges: Longitudinal Observational Study	J Med Internet Res. 2020 Dec 31;22(12):e23184. doi: 10.2196/23184.	Original Article
170	Nagano M, Saito K, Kozuka Y, et al.	乳腺外科	CD204-positive macrophages accumulate in breast cancer tumors with high levels of infiltrating lymphocytes and programmed death ligand-1 expression	Oncol Lett. 2021 Jan;21(1):36. Epub 2020 Nov 12.	Original Article
171	Fukuyama K, Tanahashi S, Hamaguchi T, et al.	精神神経科学	Correction to: Differential mechanisms underlie the regulation of serotonergic transmission in the dorsal and median raphe nuclei by mirtazapine: a dual probe microdialysis study	Psychopharmacology (Berl). 2021 Jan;238(1):325-327.	Others
172	Omori T, Nakamori S, Ohta-Ogo K, et al.	循環器・腎臓内科学	Autopsy study of pulmonary capillary hemangiomatosis with inflammatory cell infiltration into the myocardium	Pulm Circ. 2020 Nov 23;10(4):2045894020960600. eCollection 2020 Oct-Dec.	Case report
173	Isono K, Takahashi E, Miyoshi I, et al.	幹細胞発生学	Simultaneous Fluorescent Identification of Odontoblasts and Ameloblasts	J Dent Res. 2021 May;100(5):532-541. Epub 2020 Dec 8.	Original Article
174	Tanahashi S, Yamamura S, Nakagawa M, et al.	精神神経科学	Correction to: Effect of lamotrigine and carbamazepine on corticotropin-releasing factor-associated serotonergic transmission in rat dorsal raphe nucleus	Psychopharmacology (Berl). 2021 Jan;238(1):323.	Others
175	Yamane T.	幹細胞発生学	Cellular Basis of Embryonic Hematopoiesis and Its Implications in Prenatal Erythropoiesis	Int J Mol Sci. 2020 Dec 8;21(24):9346.	Review
176	Shindo A, Takase H, Hamanaka G, et al.	神経病態内科学	Biphasic roles of pentraxin 3 in cerebrovascular function after white matter stroke	CNS Neurosci Ther. 2021 Jan;27(1):60-70. Epub 2020 Dec 11.	Original Article
177	Morita A, Aiba N, Miyachi M, et al.	公衆衛生・産業医学	The associations of eating behavior and dietary intake with metabolic syndrome in Japanese: Saku cohort baseline study	J Physiol Anthropol. 2020 Dec 14;39(1):40.	Original Article
178	Nagao N, Wakabayashi H, Miyamura G, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	CTLA-4Ig Improves Hyperalgesia in a Mouse Model of Osteoporosis	Int J Mol Sci. 2020 Dec 13;21(24):9479.	Original Article
179	Kondo M, Matsushima Y, Mizutani K, et al.	皮膚科学	Transition of Serum Cytokine Concentration in Rickettsia japonica Infection	Infect Dis Rep. 2020 Dec 11;12(3):127-131.	Original Article
180	Iida S, Sugioka K, Kondo M, et al.	皮膚科学	Verruca Vulgaris and Seborrheic Keratosis Exacerbated by Immunosuppression	Case Rep Dermatol Med. 2020 Dec 2;2020:6682694. eCollection 2020.	Case report
181	Kawamoto E, Ito-Masui A, Esumi R, et al.	分子病態学 / 救命救急・総合集中治療センター	How ICU Patient Severity Affects Communicative Interactions Between Healthcare Professionals: A Study Utilizing Wearable Sociometric Badges	Front Med (Lausanne). 2020 Dec 3;7:606987. eCollection 2020.	Original Article
182	Tsuchiya K, Tanaka K, Tanaka H, et al.	産科婦人科学	Tadalafil Treatment Ameliorates Hypoxia and Alters Placental Expression of Proteins Downstream of mTOR Signaling in Fetal Growth Restriction	Medicina (Kaunas). 2020 Dec 21;56(12):722.	Original Article
183	Okano T, Kobayashi T, Yasuma T, et al.	呼吸器内科学	Low-Dose of Intrapulmonary Pirfenidone Improves Human Transforming Growth Factor 1-Driven Lung Fibrosis	Front Pharmacol. 2020 Nov 27;11:593620. eCollection 2020.	Original Article
184	Enomoto H, Kato K, Sugawara A, et al.	眼科学	Case with metastatic cutaneous malignant melanoma that developed Vogt-Koyanagi-Harada-like uveitis following pembrolizumab treatment	Doc Ophthalmol. 2021 Jan 4. Online ahead of print.	Original Article
185	Tamai Y, Chen Z, Wu Y, et al.	消化器内科学	Branched-chain amino acids and L-carnitine attenuate lipotoxic hepatocellular damage in rat cirrhotic liver	Biomed Pharmacother. 2021 Mar;135:111181. Epub 2021 Jan 1.	Original Article
186	Okada M, Oka T, Nakamoto M, et al.	精神神経科学	Astroglial Connexin43 as a Potential Target for a Mood Stabiliser	Int J Mol Sci. 2020 Dec 30;22(1):339.	Review



187	Nakamura T, Kawai A, Asanuma K, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Clinical Outcome of Dermatofibrosarcoma Protuberance. Report From the Bone and Soft Tissue Tumor (BSTT) Registry in Japan	In Vivo. 2021 Jan-Feb;35(1):611-615.	Original Article
188	Sugioka K, Goto H, Sugita K, et al.	皮膚科学	Palisaded neutrophilic granulomatous dermatitis, interstitial granulomatous dermatitis and IgA vasculitis associated with incomplete Sjögren's syndrome	J Dermatol. 2021 Apr;48(4):556-558. Epub 2021 Jan 6.	Case report
189	Wakai E, Suzumura Y, Ikemura K, et al.	統合薬理学	An Integrated In Silico and In Vivo Approach to Identify Protective Effects of Palonosetron in Cisplatin-Induced Nephrotoxicity	Pharmaceuticals (Basel). 2020 Dec 20;13(12):480.	Original Article
190	Asada R, Nakatsuka Y, Kanamaru H, et al.	脳神経外科学	Higher Plasma Osteopontin Concentrations Associated with Subsequent Development of Chronic Shunt-Dependent Hydrocephalus After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage	Transl Stroke Res. 2021 Jan 9. Online ahead of print.	Original Article
191	Kawamura T, Tanaka H, Tachibana R, et al.	産科婦人科学	Maternal tadalafil therapy for fetal growth restriction prevents non-alcoholic fatty liver disease and adipocyte hypertrophy in the offspring	Sci Rep. 2021 Jan 13;11(1):1186.	Original Article
192	Takeuchi K, Xu Y, Ogawa S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	A pediatric case of productive cough caused by novel variants in DNAH9	Hum Genome Var. 2021 Jan 15;8(1):3.	Original Article
193	Kitano M, Sakaida H, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Retrospective study of cochlear implantations at a single facility focusing on postoperative complications	Auris Nasus Larynx. 2021 Jan 15:S0385-8146(20)30329-1. Online ahead of print.	Original Article
194	Tanaka H, Kamiya CA, Horiuchi C, et al.	産科婦人科学	Aortic dissection during pregnancy and puerperium: A Japanese nationwide survey	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Apr;47(4):1265-1271. Epub 2021 Jan 21.	Original Article
195	Ishii K, Nakagawa Y, Matsuda C, et al.	腫瘍病理学	Heterogeneous induction of an invasive phenotype in prostate cancer cells by coculturing with patient-derived fibroblasts	J Cell Biochem. 2021 Jun;122(6):679-688. Epub 2021 Jan 22.	Original Article
196	Hamada Y, Tanaka K, Hattori A, et al.	消化器内科学	Clinical utility of endoscopic submucosal dissection using the pocket-creation method with a HookKnife and preoperative evaluation by endoscopic ultrasonography for the treatment of rectal neuroendocrine tumors	Surg Endosc. 2021 Jan 25. Online ahead of print.	Original Article
197	Mase Y, Matsui Y, Uchiyama E, et al.	眼科学	Cerebral trauma-induced dyschromatopsia in the left hemifield: case presentation	BMC Ophthalmol. 2021 Jan 27;21(1):63.	Case report
198	Ide S, Okugawa Y, Omura Y, et al.	消化管・小児外科学	Geriatric nutritional risk index predicts cancer prognosis in patients with local advanced rectal cancer undergoing chemoradiotherapy followed by curative surgery	World J Surg Oncol. 2021 Jan 30;19(1):34.	Original Article
199	Okamoto A, Ikemura K, Mizutani E, et al.	薬剤部	Opioid therapy duration before naldemedine treatment is a significant independent risk of diarrhea: a retrospective cohort study	J Pharm Health Care Sci. 2021 Feb 1;7(1):3.	Original Article
200	Banda CH, Narushima M, Mitsui K, et al.	形成外科学	Posterior auricular artery free flap reconstruction of the retroauricular sulcus in microtia repair	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2020 Dec 27:S1748-6815(20)30721-X. Online ahead of print.	Original Article
201	Keokenchanh S, Kounnavong S, Tokinobu A, et al.	公衆衛生・産業医学	Prevalence of Anemia and Its Associate Factors among Women of Reproductive Age in Lao PDR: Evidence from a Nationally Representative Survey	Anemia. 2021 Jan 15;2021:8823030. eCollection 2021.	Original Article
202	Shiraishi C, Matsuda H, Ogura T, et al.	薬剤部	Factors affecting serum phenobarbital concentration changes in pediatric patients receiving elixir and powder formulations	J Pharm Health Care Sci. 2021 Feb 2;7(1):7.	Original Article
203	Takakura S, Tanaka H, Tanaka K, et al.	産科婦人科学	Pulmonary thromboembolism during pregnancy and puerperium: Comparison of survival and death cases	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Apr;47(4):1312-1321. Epub 2021 Feb 1.	Original Article
204	Iwamoto S, Hori H, Sakata K, et al.	小児トータルケアセンター / 小児科	Impact of a multi-professional expert team on EOL care of children with cancer	Pediatr Int. 2021 Feb 1. Online ahead of print.	Original Article
205	Eguchi A, Iwasa M.	消化器内科学	The Role of Elevated Liver-Type Fatty Acid-Binding Proteins in Liver Diseases	Pharm Res. 2021 Jan;38(1):89-95. Epub 2021 Feb 3.	Original Article
206	Okada T, Suzuki H.	脳神経外科学	The Role of Tenascin-C in Tissue Injury and Repair After Stroke	Front Immunol. 2021 Jan 21;11:607587. eCollection 2020.	Review
207	Hattori A, Kawabata H, Umeda Y, et al.	光学医療診療部 / 消化器内科学	Adult hypertrophic pyloric stenosis that improved by spontaneous double channel pylorus formation	JGH Open. 2020 Dec 2;5(2):317-319. eCollection 2021 Feb.	Case report
208	Park EJ, Myint PK, Appiah MG, et al.	分子病態学	Ligand-competent fractalkine receptor is expressed on exosomes	Biochem Biophys Rep. 2021 Feb 2;26:100932. eCollection 2021 Jul.	Original Article
209	Kawamoto E, Nago N, Okamoto T, et al.	分子病態学 / 救命救急・総合集中治療センター	The Lectin-Like Domain of Thrombomodulin Inhibits $\alpha$ 1 Integrin-Dependent Binding of Human Breast Cancer-Derived Cell Lines to Fibronectin	Biomedicines. 2021 Feb 7;9(2):162.	Original Article
210	Nakao M, Iwashita M, Ikeda T.	産科婦人科学	Categorization of cerebral palsy cases: a different perspective	Am J Obstet Gynecol. 2021 Feb 7:S0002-9378(21)00095-8. Online ahead of print.	Original Article
211	Okada M, Matsumoto R, Yamamoto Y, et al.	精神神経科学	Effects of Subchronic Administrations of Vortioxetine, Lurasidone, and Escitalopram on Thalamocortical Glutamatergic Transmission Associated with Serotonin 5-HT7 Receptor	Int J Mol Sci. 2021 Jan 29;22(3):1351.	Original Article
212	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Reconstruction of patellar tendon rupture after total knee arthroplasty using polyethylene cable	Knee. 2021 Feb 9;29:63-67. Online ahead of print.	Case report
213	Kuriyama N, Maeda K, Komatsubara H, et al.	肝胆脾・移植外科学	The usefulness of modified splenic hilum hanging maneuver in laparoscopic splenectomy, especially for patients with huge spleen: a case-control study with propensity score matching	Surg Endosc. 2021 Feb 16. Online ahead of print.	Original Article

214	Yamamoto A, Hiro J, Omura Y, et al.	消化管・小児外科学	Laparoscopic removal of an aberrant acupuncture needle in the gluteus that reached the pelvic cavity: a case report	Surg Case Rep. 2021 Feb 17;7(1):51.	Original Article
215	Kato K, Takeuchi M, Yonekawa Y, et al.	眼科学	Management of Inflamed Conjunctival Nevus with Topical Antiallergic Medications: Case Series	Clin Ophthalmol. 2021 Feb 12;15:559-564. eCollection 2021.	Case report
216	Nishiguchi Y, Matsuyama H, Shindo A, et al.	神経病態内科学	A Case of Cerebral Embolism Associated with Calcified Amorphous Tumor: A Review of Cerebral Infarction Cases	Intern Med. 2021 Feb 22. Online ahead of print.	Original Article
217	Ishikawa-Nishimura M, Kondo M, et al.	皮膚科学	A Case of Pruritic Urticarial Papules and Plaques of Pregnancy: Pathophysiology and Serum Cytokine Profile	Case Rep Dermatol. 2021 Jan 25;13(1):18-22. eCollection 2021 Jan-Apr.	Case report
218	Ozaki A, Matsubara H, Sugimoto M, et al.	眼科学	Efficacy of Psychiatric Treatment to Treat a Specific Phobia of Intravitreal Injections in a Patient with Neovascular Age-Related Macular Degeneration	Case Rep Ophthalmol. 2021 Jan 13;12(1):48-56. eCollection 2021 Jan-Apr.	Case report
219	Sakakura T.	病理学	Serendipity; Close Encounter of Tenascin C	Front Immunol. 2021 Feb 3;11:620182. eCollection 2020.	Original Article
220	Darkwah S, Park EJ, Myint PK, et al.	分子病態学	Potential Roles of Muscle-Derived Extracellular Vesicles in Remodeling Cellular Microenvironment: Proposed Implications of the Exercise-Induced Myokine, Irisin	Front Cell Dev Biol. 2021 Feb 5;9:634853. eCollection 2021.	Review
221	Ito-Masui A, Kawamoto E, Sakamoto R, et al.	分子病態学 / 救命救急・総合集中治療センター	Internet-Based Individualized Cognitive Behavioral Therapy for Shift Work Sleep Disorder Empowered by Well-Being Prediction: Protocol for a Pilot Study	JMIR Res Protoc. 2021 Mar 18;10(3):e24799.	Original Article
222	Umino M, Maeda M, Kogoe R, et al.	放射線医学	Evaluation of cortical superficial siderosis in patients with cognitive dysfunction using 3D FLAIR and 3D DIR	Eur Radiol. 2021 Feb 25. Online ahead of print.	Original Article
223	Nakao M, Iwashita M, Ikeda T.	産科婦人科学	Looking at the data in the right perspective	Am J Obstet Gynecol. 2021 Feb 22:S0002-9378(21)00122-8. Online ahead of print.	Original Article
224	Akeda K, Cheng K, Abarado E, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Three-dimensional computed tomographic evaluation of lateral lumbar interbody fusion: morphometric change of intervertebral structure	Eur Spine J. 2021 Mar 2. Online ahead of print.	Original Article
225	Omori K, Nomoto Y, Kawamura T, et al.	放射線医学	Endobronchial brachytherapy combined with surgical procedure for synchronous multiple primary lung cancer: A case report	Thorac Cancer. 2021 Apr;12(8):1252-1255. Epub 2021 Mar 2.	Case report
226	Yamaguchi T, Kawamoto E, Gaowa A, et al.	分子病態学	Remodeling of Bone Marrow Niches and Roles of Exosomes in Leukemia	Int J Mol Sci. 2021 Feb 13;22(4):1881.	Review
227	Inoue M, Uchida K, Matsushita K, et al.	消化管・小児外科学	Incisional negative pressure wound therapy for perineal wound in Crohn's disease	Pediatr Int. 2021 Apr;63(4):475-477. Epub 2021 Mar 6.	Original Article
228	Okubo R, Hasegawa T, Fukuyama K, et al.	精神神経科学	Current Limitations and Candidate Potential of 5-HT7 Receptor Antagonism in Psychiatric Pharmacotherapy	Front Psychiatry. 2021 Feb 18;12:623684. eCollection 2021.	Review
229	Nakamori Y, Park EJ, Shimaoka M.	分子病態学	Immune Deregulation in Sepsis and Septic Shock: Reversing Immune Paralysis by Targeting PD-1/PD-L1 Pathway	Front Immunol. 2021 Feb 17;11:624279. eCollection 2020.	Review
230	Yamakawa D, Katoh D, Kasahara K, et al.	分子生理学	Primary cilia-dependent lipid raft/caveolin dynamics regulate adipogenesis	Cell Rep. 2021 Mar 9;34(10):108817.	Original Article
231	Watanabe T, Motomura E, Kawano Y, et al.	中央検査部	Electrical field distribution of Change-N1 and its prepulse inhibition	Neurosci Lett. 2021 Apr 23;751:135804. doi: 10.1016/j.neulet.2021.135804. Epub 2021 Mar 8.	Original Article
232	Okada M, Fukuyama K, Shiroyama T, et al.	精神神経科学	Brivaracetam prevents astroglial I-glutamate release associated with hemichannel through modulation of synaptic vesicle protein	Biomed Pharmacother. 2021 Jun;138:111462. Epub 2021 Mar 8.	Original Article
233	Suzuki Y, Yada Y, Koyama Y, et al.	リハビリテーション部	Types of Geriatric Assessment and Management Approaches to Hip Fracture	Geriatr Orthop Surg Rehabil. 2021 Feb 24;12:2151459321998618. . eCollection 2021.	Original Article
234	Myint PK, Ito A, Appiah MG, et al.	分子病態学	Irisin supports integrin-mediated cell adhesion of lymphocytes	Biochem Biophys Rep. 2021 Mar 8;26:100977. eCollection 2021 Jul.	Original Article
235	Eguchi A, Iwasa M, Tamai Y, et al.	消化器内科学	Branched-chain amino acids protect the liver from cirrhotic injury via suppression of activation of lipopolysaccharide-binding protein, toll-like receptor 4, and signal transducer and activator of transcription 3, as well as Enterococcus faecalis translocation	Nutrition. 2021 Feb 10;86:111194. Online ahead of print.	Original Article
236	Akeda K, Takegami N, Yamada J, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Lateral Access Spine Surgery following Liver Transplantation: A Report of Two Cases	Case Rep Orthop. 2021 Mar 13;2021:5581952. eCollection 2021.	Case report
237	Kondo M, Taniguchi T, Umaoka A, et al.	皮膚科学	Immunoglobulin G levels against Staphylococcus aureus maintained before and after treatment of severe atopic dermatitis	J Dermatol. 2021 Mar 28. Online ahead of print.	Original Article
238	Sano T, Sun X, Feng Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Inhibition of the Growth of Breast Cancer-Associated Brain Tumors by the Osteocyte-Derived Conditioned Medium	Cancers (Basel). 2021 Mar 3;13(5):1061.	Original Article
239	Nakano T, Hasegawa T, Okada M.	精神神経科学	Analysing the Impacts of Financial Support for Regional Suicide Prevention Programmes on Suicide Mortality Caused by Major Suicide Motives in Japan Using Statistical Government Data	Int J Environ Res Public Health. 2021 Mar 25;18(7):3414.	Original Article
240	Wang G, Hiramoto K, Ma N, et al.	環境分子医学	Glycyrrhizin Attenuates Carcinogenesis by Inhibiting the Inflammatory Response in a Murine Model of Colorectal Cancer	Int J Mol Sci. 2021 Mar 5;22(5):2609.	Original Article

小計27件

241	Banda CH, Narushima M, Mitsui K, et al.	形成外科学	Donor site morbidity of postauricular free flaps and full thickness skin grafts	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2021 Mar 22:S1748-6815(21)00093-0. Online ahead of print.	Original Article
242	Xu Y, Ogawa S, Adachi Y, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	A pediatric case of primary ciliary dyskinesia caused by novel copy number variation in PIH1D3	Auris Nasus Larynx. 2021 Mar 31:S0385-8146(21)00087-0. Online ahead of print.	Original Article
243	Takemoto K.	生化学	Optical manipulation of molecular function by chromophore-assisted light inactivation	Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci. 2021;97(4):197-209.	Original Article
244	Nakaya H, Okamoto R, Ogihara Y, et al.	循環器・腎臓内科学	Giant deep vein thrombus complicating endovascular cooling therapy after cardiac arrest in a boy with hypertrophic cardiomyopathy	J Cardiol Cases. 2021 Feb 19;23(4):189-191. eCollection 2021 Apr.	Case report
245	Hamada Y, Tanaka K, Baba Y, et al.	消化器内科学	Primary rectal squamous cell carcinoma resembling a submucosal tumor	JGH Open. 2021 Feb 26;5(4):517-519. eCollection 2021 Apr.	Original Article
246	Nishimura A, Nakazora S, Senga Y, et al.	スポーツ整形外科学	Arthroscopic Internal Brace Augmentation With Arthroscopic Modified Broström Operation for Chronic Ankle Instability	Arthrosc Tech+K62:M251	Original Article

小計6件

計246件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article, Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

倫理審査委員会の設置状況	有・無
倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的、定義、設置者の責務、委員会等の役割・責務、委員会等の構成及び会議の成立要件等、迅速審査に関すること。	
倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、委員会の設置、申告、審査、指導等、情報開示、管理、利益相反相談室の設置、研究機関の長の責務に関すること。	
利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 ・ 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に関すること(1回) ・ 「臨床研究法」に関すること(1回)	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内科専門研修プログラム、小児科専門研修プログラム、皮膚科専門研修プログラム、精神科専門研修プログラム、外科専門研修プログラム、整形外科専門研修プログラム、産婦人科専門研修プログラム、眼科専門研修プログラム、耳鼻咽喉科専門研修プログラム、泌尿器科専門研修プログラム、脳神経外科専門研修プログラム、放射線科専門研修プログラム、麻酔科専門研修プログラム、病理専門研修プログラム、臨床検査専門研修プログラム、救急科専門研修プログラム、リハビリテーション科専門研修プログラム、総合診療専門研修プログラム

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	261人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本 憲彦	総合診療科	教授	27年	
土肥 薫	循環器内科	准教授	27年	
俵 功	血液内科	教授	27年	
中川 勇人	消化器・肝臓内科	教授	21年	
冨本 秀和	脳神経内科	教授	40年	
小林 哲	呼吸器内科	准教授	30年	
水野 聡朗	腫瘍内科	准教授	27年	
村田 智博	腎臓内科	講師	22年	
矢野 裕	糖尿病・内分泌内科	准教授	36年	
鈴木 圭	感染症内科	准教授	19年	
水野 修吾	一般外科	教授	26年	
問山 裕二	消化管外科	教授	24年	
水野 修吾	肝胆膵・移植外科	教授	26年	
庄村 遊	心臓血管外科	准教授	29年	
高尾 仁二	呼吸器外科	教授	37年	
小川 朋子	乳腺外科	教授	32年	
小池 勇樹	小児外科	講師	18年	H27.4.1-H29.3.31休職
湊藤 啓広	整形外科	教授	38年	
池田 智明	産科婦人科	教授	38年	
平山 雅浩	小児科	教授	35年	
岡田 元宏	精神科神経科	教授	30年	
山中 恵一	皮膚科	教授	28年	H15.5.16-H17.6.30休職
井上 貴博	腎泌尿器外科	教授	27年	
近藤 峰生	眼科	教授	30年	H11.1.25-H13.1.25休職
竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	36年	
鈴木 秀謙	脳神経外科	教授	31年	
成島 三長	形成外科	教授	20年	
佐久間 肇	放射線科	教授	36年	H5.11.1-H8.3.31休職

渡邊 昌俊	病理診断科	教授	32年	
奥川 喜永	ゲノム診療科	教授	18年	H25.4.1-H27.3.31休職 H27.8.1-H27.12.31休職
丸山 一男	麻酔科	教授	37年	
丸山 一男	緩和ケア科	教授	37年	
今井 寛	救急科	教授	37年	
新井 直也	歯科口腔外科	教授	32年	H15.4.1-H16.3.31休職
百崎 良	リハビリテーション科	教授	17年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>1.人工呼吸器を装着した患者さんを見るための研修～新型コロナウイルス感染症の重症者が大幅に増えたときに備えて～</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 新型コロナウイルス感染症の重症患者の大幅な増加に備え、これまで人工呼吸器装着患者を見た経験のあり、現在そのような患者に携わることがない一般病棟および中央部門の看護師を対象に研修を行った。 集中ケア認定看護師、救急看護認定看護師、救急・重症患者看専門看護師が講師となり、呼吸器の設定・アラームの対処、セデーション時の注意点、閉鎖式吸引についてスキルトレーニングセンターにおいて研修した。</li><li>・研修の期間・実施回数 2020年4月7日（火）～10日（金）13回（1回90分）</li><li>・研修の参加人数 122名</li></ul> <p>2.看護部クリニカルラダーレベル、研修</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 看護師の能力開発・評価のためクリニカルラダーのシステムがある。そのうち、レベルはリーダーシップを発揮し看護実践ができるレベル、レベルではロールモデルとなれるレベルをめざし育成している。レベルでは、看護倫理、リーダーシップ、キャリア開発、看護研究、看護理論、急性期患者の看護、認知患者の看護、安全管理、感染管理、情報管理、経営管理、災害管理について、レベルでは、看護倫理、リーダーシップ、看護研究、安全管理、経営管理について研修を行った。</li><li>・研修の期間・実施回数 レベル 9月～3月 26回（1回75分～105分） レベル 10月～2月 6回（1回75分～90分）</li><li>・研修の参加人数 122名 レベル 461名、レベル 21名 ラダー認定者数 レベル 10名、レベル 1名</li></ul>
業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 職員研修会：基本理念・基本方針、職員の行動規範、臨床研究、医療安全管理について 合同研修会：感染管理、医療情報、医療機器、医薬品の安全使用について</li></ul>

・研修の期間・実施回数

職員研修会：令和2年4月17日

合同研修会：令和2年4月30日

・研修の参加人数

職員研修会：2,015人（e-learning受講を含む）

合同研修会：2,016人（e-learning受講を含む）

他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。



(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 伊佐地 秀司
管理担当者氏名	中央放射線部部长 佐久間 肇 薬剂部部长 岩本 卓也 医療安全管理部部长 兼児 敏浩 感染制御部部长 田辺 正樹 臨床工学部部长 竹内 万彦 医療情報管理部部长 佐久間 肇 看護部部长 江藤 由美 医学・病院管理部総務課長 伊藤 敦士 医学・病院管理部経営管理課長 伊藤 利宏 医学・病院管理部医事課長 寺前 利治

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十一条の三第一項に	病院日誌	病歴室及びサーバー
		各科診療日誌	病歴室及びサーバー
		処方せん	病歴室、薬剂部及びサーバー
		手術記録	病歴室及びサーバー
		看護記録	病歴室及びサーバー
		検査所見記録	病歴室及びサーバー
		エックス線写真	サーバー
		紹介状	病歴室及びサーバー
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病歴室及びサーバー
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十一条の三第三	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剂部
	掲げる事項 規則第一条の十一第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課、医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課、医事課、医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課、医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課、医療安全管理部

診療に関する諸記録は全科電子カルテを導入。  
(患者の署名のある同意書及び医師等が手書きした記録は、スキャンしている。)  
なお、診療録の病院外への持ち出しは、本院が定める取扱いにおいて禁止している。

従業者数を明らかにする帳簿は人事給与システムにて管理している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課、感染制御部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課、感染制御部
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課、感染制御部
	第二項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課、感染制御部
	第一号	医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
	から	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課、薬剤部
	第三号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	までに掲げる事項	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課、臨床工学部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課、臨床工学部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課、医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課、感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課、医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部、薬剤部
		監査委員会の設置状況	監査チーム、総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	各診療科、医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課、医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課、医療安全管理部、総合サポートセンター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課、医療安全管理部
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課、医療安全管理部
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	企画総務部総務チーム、総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 伊佐地 秀司	
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長 伊藤 敦士	
閲覧の求めに応じる場所	医学・病院管理部総務課総務係	
閲覧の手続の概要 規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する。 病院長は、前記の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付する。 閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上で行う。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関する基本的な考え方</li> <li>・ 安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関する基本的事項</li> <li>・ 安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>・ 医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針</li> <li>・ 医療事故等発生への対応に関する基本方針</li> <li>・ 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針</li> <li>・ 患者からの相談への対応に関する指針</li> <li>・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
<p>医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 開催状況：年122回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全管理委員会 (年 13 回 定例12回・臨時1回) <ul style="list-style-type: none"> <li>医事法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医事紛争の処理に関する事項、医療訴訟に関する事項、死亡事例及び重症合併症事例に関する事項並びに内部通報窓口 (医療安全・倫理ポスト) への投書に関する事項を所掌する。</li> </ul> </li> <li>医療の質・倫理検討委員会 (年 19 回) <ul style="list-style-type: none"> <li>移植医療、終末期医療及び治療拒否等における臨床倫理的問題に関すること、医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること、インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること並びに職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関することを所掌する。</li> </ul> </li> <li>医療安全会議 (年 78 回) <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全に係る検討及び死亡事例・重症合併症事例の検討を行う。</li> </ul> </li> <li>リスクマネージャー会議 (年 12 回) <ul style="list-style-type: none"> <li>インシデントレポートの積極的な収集並びに医療安全管理委員会及び医療安全管理部において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。</li> <li>各医療現場において、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について、独自に検討及び提言する。</li> <li>各医療現場において、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓発活動を行う。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容 (すべて)： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院長を講師として病院の基本理念や基本方針について、医療サービス担当副病院長を講師として職員の行動規範について、医療安全担当副病院長を講師として医療安全管理についての研修会を実施した。</li> <li>・ 医療安全担当副病院長、ゼネラルマネージャーによるリスクマネジメントマニュアルについての研修会を実施した。</li> <li>・ 外部講師による演題「腐敗・汚職防止のための基礎研修」、「コンプライアンスに関する研</li> </ul> </li> </ul>	

修」を実施した。

医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：  
ヒヤリハットニュースの発行（月1回及び必要に応じて随時）、緊急職員集会の開催、リスクマネージャー会議の開催により、インシデントレポートから積極的に収集した情報並びに医療安全管理委員会及び医療安全会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための指針の策定状況	①・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・ 委員会等の組織に関する基本的事項</li> <li>・ 職員研修に関する基本方針</li> <li>・ 発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>・ 感染発生対応に関する基本方針</li> <li>・ 指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>・ その他の必要な基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 微生物（耐性菌、CD、感染症法上届け出疾患）の検出状況報告</li> <li>・ 職員流行性ウイルス疾患等の発生状況報告</li> <li>・ 病棟ラウンド指摘事項報告</li> <li>・ 手指衛生状況報告</li> <li>・ 血液培養2セット率報告</li> <li>・ AST活動状況報告</li> <li>・ 届け出抗菌薬使用状況報告</li> <li>・ 洗浄・消毒・滅菌に関する内容</li> <li>・ 感染症関連の従業員保健に関する内容</li> <li>・ 指針・マニュアルの改訂に関する内容</li> <li>・ 地域連携、国公立大学病院感染対策協議会の情報共有</li> <li>・ 感染症等の最新情報の共有</li> <li>・ 病院従業者等へのワクチン接種に関する内容</li> </ul> </li> </ul>	
従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染制御部副部長を講師として、感染管理について研修会を実施した。</li> <li>・ 学内講師による「抗菌薬適正使用」、「感染症内科からみた感染症診療」、「新型コロナウイルス感染症に関する情報」についての研修会を実施した。</li> <li>・ 外部講師による演題「新型コロナウイルス感染症対策について」の研修会を実施した。</li> </ul> </li> </ul>	
感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ①・無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>院内にて感染症検査陽性の場合、中央検査部より感染制御部に電話連絡が入ることとなり、感染制御部が直ちに感染対策について部署に出向き、看護師長・医師とともに感染対策を実施している。入院時の持ち込み感染症については、病棟師長より感染制御部へ電話連絡が入ることとなっている。</li> <li>従業者の感染症罹患については、感染制御部のホームページに専用の報告フォームがあり、フォームに入力することで感染制御部に報告されるシステムが確立されている。</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年4回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全管理部薬剤師を講師として新入職員対象研修（医療安全）を実施した。</li> <li>・ 薬剤部職員を講師として、全職員を対象に、医薬品の安全使用についての研修会を実施した。</li> <li>・ 薬剤部職員を講師として、研修医を対象に、麻薬の取扱いに関する研修会を実施した。</li> </ul> </li> </ul>	
<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医薬品の採用</li> <li>2. 医薬品の購入</li> <li>3. 医薬品の管理</li> <li>4. 医薬品の請求と調剤・交付</li> <li>5. 未承認薬・適応外使用薬の適正使用手順</li> <li>6. 与薬・施用と薬剤管理指導</li> <li>7. 医薬品の安全使用にかかる情報の取扱い</li> <li>8. 重大な有害事象の予防・対応</li> <li>9. 医薬品等の臨床試験（治験）および製造販売後調査に係る取扱い</li> <li>10. 研修医等による医薬品の取扱いの制限</li> <li>11. 各部門における手順</li> <li>12. 地域連携</li> <li>13. 医薬品安全使用のための業務手順書について</li> </ol> </li> </ul>	
<p>医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <p>13-cis-Retinoic Acid（イソトレチノイン；high risk神経芽腫）、Vision Blue（トリパンブルー；眼科手術用色素製剤）、ILM Blue（プリリアントブルーG；眼科手術用色素製剤）、レトロビルシロップ（HIV母子感染予防）、グルタルアルデヒド溶液（人工心膜の固定）、リファンピシン溶液（人工血管の感染予防）等</p> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子カルテ端末から電子医薬品集、最新の添付文書改訂情報、包装変更や供給状況など製薬企業からの情報を全職員が閲覧可能としている。</li> <li>・ 院内報（DI-Weekly、薬剤部ニュース、くすりの適正使用情報）を発行・配布のほか、職員用エレベーターホールへの掲示、病院ポータルサイトへ随時掲載している。</li> <li>・ 病棟薬剤師と医薬品情報室員で週一回ミーティングを実施し、薬剤情報を病棟へ伝達している。</li> <li>・ 薬剤師が行った疑義照会のうち、重大（レベル0c相当）事例を、医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議、科長会議へ報告し、注意喚起および改善策の検討を行っている。</li> <li>・ 薬剤部で把握した適応外使用事例を、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会へ報告し、</li> </ul> </li> </ul>	



委員会で内容および必要な対応を検討している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年53回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器安全管理責任者を講師として、全職員を対象に、医療機器に関する安全使用について研修会を実施した。</li> <li>・ 新規購入機器においては、使用する職員名簿を作成し、メーカー主催の研修会を実施した。また、研修会では、使用方法だけでなく不具合発生時の対応など安全使用についても講義を行った。</li> <li>・ 研修医や新人看護師、病棟移動看護師に対し、臨床工学技士を講師として医療機器の操作及び安全使用について研修会を行った。</li> <li>・ 特に安全使用に際して、技術の習得が必要と考えられる医療機器については、医師および看護師を対象に実地研修（使用方法や有用性・安全性に関する事項、不具合が発生した場合の対応含む）を行った。</li> </ul> </li> </ul>	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床工学技士による定期点検とメーカー委託による定期点検を実施</li> </ul> </li> </ul>	
医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脳動脈瘤ステント支援コイル塞栓術後再発患者に対するフローダイバー留置</li> <li>・ コレステロール塞栓症に対するLDLアフェレーシス</li> </ul> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未承認新規医療機器等を用いた医療の提供に適否等にかかる担当部門（医療安全管理部・サーベイランスチーム）へ報告し、倫理的審査を受け承認されれば、承認範囲内で使用する。</li> <li>・ 医療機器に関わる添付文書等の収集、PMDAメディナビへの登録による情報収集や使用している。医療機器については、メーカー等より情報を収集している。その他、医療安全管理部や他大学との連携により不具合情報を共有している。</li> <li>・ PMDAから随時配信される情報やメーカー等から得た情報は、医療安全管理部を通して関係部署に周知し、必要があれば、リスクマネージャー会議にて報告するほか、電子カルテ端末からマニュアル等の閲覧システムにより情報を提供している。また、看護師と連携した医療機器中央管理運営委員会（年4回）に情報を提供している。</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

医療安全管理責任者の配置状況	①・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>責任者の資格 (医師・歯科医師)</li> <li>医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者が、医療安全管理部長及び医療安全管理委員会委員長を担っており、これらを統括している。また、医療安全管理委員会には、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。</li> </ul>	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	①(5名)・無
<p>医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品に係る添付文書等やメーカー、インターネット、文献等から情報を収集し、整理した上で、薬剤部発行の院内医薬品情報誌やオンライン医薬品集、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メールや文書等による通知、病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明、その他掲示等により周知を行っている。</li> <li>未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 調剤や病棟薬剤業務における疑義照会時に未承認薬や適応外薬のスクリーニングを行い、把握した事例について未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて報告し、適宜、同委員会への審議申請を回している。当該委員会に付議された申請のうち、医薬品に係る審議事項の事前調査と委員会での説明と審議を行っている。委員会で承認された適応外使用について、データベースを作成し薬剤部員で情報共有している。</li> <li>担当者の指名の有無 (①・無)</li> <li>担当者の所属・職種： (所属：薬剤部医薬品情報室，職種：薬剤師) (所属： ，職種 ) (所属： ，職種 ) (所属： ，職種 ) (所属： ，職種 ) (所属： ，職種 ) (所属： ，職種 ) (所属： ，職種 )</li> </ul>	
医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	①・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( ①・無 )</li> <li>説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 診療情報管理士が抽出したカルテを、各診療科の医師リスクマネージャーが評価を行い、その内容を医療安全管理部が確認する。</li> </ul>	

診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理に関する責任者（副病院長 医療安全担当）を配置し、医師、看護師、診療情報管理士において診療記録の質的監査チェックシートを基に実施する。</p> <p>監査項目は、日々の診療記録の記載がされており且つ、診療計画の立案、適切なプロセスでインフォームド・コンセントが実施され同意書が得られているか、カンファレンスの開催内容が適切に記載されているか等をチェックする。</p> <p>監査報告、指導については医療情報・診療記録管理委員会で今後の記載に当たっての注意事項、改善方法等について指導を行っている。また、診療科長、主治医、担当医、看護師にも質的監査チェックシートを送付し、報告している。</p>	
医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（6）名、専任（1）名、兼任（3）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名</p> <p>うち薬剤師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療の質・倫理検討委員会及び医療安全管理委員会に係る事務に関すること。</li> <li>(2) 医療事故その他の医療安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への指導に関すること。</li> <li>(3) インシデントレポートの収集・調査・防止対策及び防止対策の周知徹底に関すること。</li> <li>(4) 医療事故防止・安全管理に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。</li> <li>(5) 医療事故防止・安全管理に係わる業務改善の提言・指導に関すること。</li> <li>(6) 医療安全に係わる教育・研修・啓発に関すること。</li> <li>(7) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。</li> <li>(8) 医療安全会議及びリスクマネージャー会議に関すること。</li> <li>(9) 内部通報窓口（医療安全ポスト）に関すること。</li> <li>(10) 医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること。</li> <li>(11) 職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること。</li> </ol> <p>(10)(11)について、インシデントレポートの内容確認、病院内の巡視、入院診療録の質・量の監査等により実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(12) インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること。</li> <li>(13) 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。</li> <li>(14) 未承認新規医薬品を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認</li> </ol>	

等に関すること。

- (15) 未承認新規医療機器を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。
- (16) 死亡事例及び重症合併症事例に関すること。
- (17) その他医療の安全管理に関すること。

平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

#### 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（8件）、及び許可件数（8件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・ 活動の主な内容：
  - ・ 診療科からの申出内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会に対して意見を求める。
  - ・ 高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。
  - ・ 当該医療技術について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

#### 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（158件）、及び許可件数（146件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・ 活動の主な内容：
  - ・ 診療科からの申出内容を確認し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会に対して意見を求める。
  - ・ 未承認新規医薬品・医療機器評価委員会からの意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使

<p>用の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該未承認新規医薬品等について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> </ul>
<p>入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 302 件</li> <li>・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 141 件</li> <li>・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理部への報告の実施状況を確認させ、確認結果を病院長へ報告させること。</li> <li>・医療安全管理部への報告の実施状況が不十分な場合には、適切な報告のための職員等への研修及び指導を行わせること。</li> </ul> </li> </ul>
<p>他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の特定機能病院等への立入り ( <input checked="" type="radio"/> 有 (病院名：名古屋市立大学病院) ・ 無 )</li> <li>・他の特定機能病院等からの立入り受入れ ( <input checked="" type="radio"/> 有 (病院名：浜松医科大学医学部附属病院) ・ 無 )</li> </ul> <p>上記ともに書面調査をもって実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術的助言の実施状況</li> </ul>
<p>当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制の確保状況 <p>患者からの相談に応じる部門として、総合サポートセンターを設置している。内容が医療安全に係る疑いがある場合は、情報を医療安全管理部に提供する。</p> </li> </ul>

<p>職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施状況 <p>合同研修会 (感染制御部、医療情報管理部、臨床工学部、薬剤部がそれぞれ講師を担当)、保険診療に関する研修会、褥瘡に係る研修会、診療用放射線の安全利用の研修、職員の倫理に関する研修会を実施した。</p> </li> </ul>
--

(注) 前年度の実績を記載すること ( の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること )

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、日本医療機能評価機構が主催する「2020年度特定機能病院管理者研修」を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和2年2月3日～5日に日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院3」の訪問審査を受審し、9月29日に認定証を受領した。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

今後HP上にて公表する予定である。

・評価を踏まえ講じた措置

今後適切な措置を行う予定である。

(注) 記載時点の状況を記載すること

## 規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

### 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容

- 1 . 医療法（昭和23年法律第205号）第10条の規定に則った者
- 2 . 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者  
具体的には医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等
- 3 . 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者  
具体的には、高潔な人格と優れた学識、当院または当院以外の病院での組織管理経験、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力等
- 4 . 当院に求められる使命を遂行するために必要な資質・能力を有している者  
具体的には、大学の附属病院としての使命である、診療・教育・研究の充実等に加え、次に掲げる事項について、継続的かつ確実に推進する姿勢と指導力等  
医療安全管理体制の改革を行う。また、患者の権利に配慮し、患者の視点に立った、患者中心の医療を行う。  
高度急性期病院の体制と機能を強化し、超高齢社会の医療の中核を担う。  
地域医療及び先端医療への社会の要請に応えられる未来を担う医療人を育成する。  
臨床研究を推進し、地域社会、国際社会に貢献する。
- 5 . 三重県の中核病院として、地域医療に貢献するために必要な資質・能力を有している者  
具体的には、三重県や三重県医師会等とも連携し、地域の中核病院として県域全体の医療に貢献すること等について、継続的かつ確実に推進する姿勢と指導力等

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（  有 ・ 無 ）

- ・ 公表の方法

大学ホームページに掲載しているほか、公募の案内文書を郵送する際に同封している。



規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有 <input checked="" type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 ( を付す )	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 人事に関する事項</p> <p>(2) 診療に関する事項</p> <p>(3) 予算の配分方針に関する事項</p> <p>(4) 組織の設置廃止の方針に関する事項</p> <p>(5) 病院諸規程の制定改廃に関する事項</p> <p>(6) その他病院長が必要と認める事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>・毎月第4水曜に開催する科長会議での周知。</p> <p>・院内メールや紙資料配付による周知。</p> <p>・特に周知徹底が必要な事項については、別途緊急集会を開催。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 ( 有 (無) )</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 ( 有 (無) )</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 ( を付す )	職種	役職
伊佐地 秀司		医師	病院長
平山 雅浩		医師	副病院長 ( 診療担当 ) 小児科学 教授
佐久間 肇		医師	副病院長 ( 経営担当 ) 放射線医学 教授
近藤 峰生		医師	副病院長 ( 教育・地域連携担当 ) 眼科学 教授
鈴木 秀謙		医師	副病院長 ( 研究・広報担当 ) 脳神経外科学 教授
江藤 由美		看護師	副病院長 ( 医療サービス担当 ) 看護部長
兼見 敏浩		医師	副病院長 ( 医療安全担当 ) 安全管理部 教授
高尾 仁二		医師	副病院長 ( 働き方改革担当 ) 胸部心臓血管外科学 教授
堀 浩樹		医師	副病院長 ( 医学部連携担当 ) 医学医療教育学 教授
丸山 一男		医師	麻酔集中治療学 教授
岡田 元宏		医師	精神神経科学 教授

山本 憲彦		医師	総合診療科 教授
冨本 秀和		医師	神経病態内科学 教授
小川 朋子		医師	乳腺センター 教授
竹内 万彦		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授
湊藤 啓広		医師	運動器外科学・腫瘍集学治療学 教授
今井 寛		医師	救命救急・総合集中治療センター 教授
池田 智明		医師	産科婦人科学 教授
新井 直也		歯科医師	口腔・顎顔面外科学 教授
成島 三長		医師	形成外科 教授
中島 亜矢子		医師	リウマチ・膠原病センター 教授
山中 恵一		医師	皮膚科学 教授
井上 貴博		医師	腎泌尿器外科学 教授
水野 修吾		医師	肝胆膵・移植外科学 教授
百崎 良		医師	リハビリテーション医学 教授
土肥 薫		医師	循環器・腎臓内科学 教授
俵 功		医師	血液・腫瘍内科学 教授
問山 裕二		医師	消化管・小児外科学 教授
渡邊 昌俊		医師	病理部長
笠島 茂		医師	疫学センター長
田辺 正樹		医師	中央検査部 教授
田丸 智巳		医師	臨床研究開発センター 教授
岩本 卓也		医師	薬剤部長
小林 哲		医師	呼吸器内科学、代謝内分泌内科学 教授
奥川 喜永		医師	ゲノム医療部 教授
岡本 隆二		医師	臨床研修・キャリア支援部 教授
中川 勇人		医師	消化器内科学 教授
井澤 克弘		事務職員	医学・病院管理部長
林 智世		看護師	病院長特命補佐（看護学科連携担当）

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有  無）（今後公表予定）
- ・ 公表の方法  
本学ホームページに掲載。
- ・ 規程の主な内容  
「病院長は、附属病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括する。」旨を規定し、また、副病院長や病院長補佐等の病院長を補佐する役職の設置についても規定している。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
  - < 副病院長 >  
附属病院の管理運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。  
（担当：診療、経営、教育・地域連携、研究・広報、医療サービス、医療安全、働き方改革、医学部連携）
  - < 病院長補佐 >  
附属病院の運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。  
（担当：医療機器、教育・研究）
  - < 病院長特命補佐 >  
附属病院の運営を円滑に進めるため、特別の命を受け、病院長の職務を補佐する。  
（担当：医療情報システム、メディカルスタッフ、特務、防災対策推進）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
病院長以下執行部のほかに各診療科に科長、副科長を置き、科長のもとに外来医長、病棟医長、教育医長及び研究医長を置き、それぞれに責任を持たせ担当業務を遂行させている。  
日本医療機能評価機構が主催する「2020年度特定機能病院管理者研修」を管理者（病院長）、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が受講している。  
厚生労働省が主催する「令和元年度事業継続計画（BCP）策定研修」を病院長が受講している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員会の開催状況：年1回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>医学部附属病院における医療に係る安全管理の状況を監査し、学長または病院長に対して提言を行う。</li> </ul> </li> <li>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 委員名簿の公表の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 委員の選定理由の公表の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 公表の方法：本学ホームページに掲載。</li> </ul>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由(注)					
氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥野 正義	中部電力パワーグリッド株式会社 調査役		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	(有)・無	2
片山 眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	(有)・無	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	(有)・無	2
鈴木 明	浜松医科大学医学部附属病院 医療安全管理室 特任講師		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	(有)・無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

令和2年に発覚した臨床麻酔部における不正事件及び、令和3年3月に発覚した向精神薬の紛失事件を受けて、病院が策定した以下の再発防止策及びその履行状況を監事及び内部監査部門並びに会計監査人が連携して確認を行っている。

事項	内容
カルテ改ざん及び不正請求に対する再発防止	コンプライアンス教育の再徹底
	不正を通報しやすい環境整備
	手術室の薬剤管理体制強化
	手術部現場の課題を病院執行部へ報告する仕組みの整備
	中央手術部長と臨床麻酔部長の兼務を解消
	手術部看護師の所属を臨床麻酔部から看護部へ変更
賄賂に対する再発防止	麻酔記録・手術室情報システムの改修
	腐敗・汚職防止に関するコンプライアンス教育の実施
薬剤紛失に対する再発防止	奨学寄附金受入時の誓約書提出義務付け
	すべての向精神薬について管理簿を作成し、入払ごとに記帳
	月ごとに発注量と在庫量の突合を実施
	調剤室等への監視カメラ増設

確認方法については、役員会や経営協議会等における管理者からの報告のほか、必要に応じて現地に赴いて現場の視察と担当の医師、薬剤師、職員への聞き取りを行い、再発防止策の実効性について確認を行っている。

また、病院監査委員会及び、病院の管理運営の状況を点検し、開設者及び管理者に提言する会議体としての病院監督管理委員会に監事及び内部監査部門が陪席している。

監事については、「国立大学法人三重大学監事監査規程」第9条において、

「役員が内部統制システムを適切に構築し運用しているかを監視し検証しなければならない」

と定めており、監視・検証の対象として同条第1号で、

「学長、理事及び職員の職務執行が法令等に違反しないための法令等遵守体制」

と明記している。また、同規程第17条では、

「監事は、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、役員会のほか、経営協議会、教育研究評議会、その他の重要な会議又は委員会に出席することができ、必要であると認めるときは、意見を述べるができる」

となっている。これに基づき、監事は以下の大学本部の重要会議に出席し、管理者からの病院事業報告の状況等を検証している。（役員会、経営協議会、教育研究評議会、全学マネジメント会議、危機管理委員会、教育会議）

また、主として下表の病院関連各種重要会議に出席して法令等の遵守状況、管理者の開設者への事業報告状況、病院の経営状況等を確認している。

これら活動の状況は毎月初めに、監事より開設者に報告され、管理者にも写しにより報告される。

（令和2年10月～令和3年9月の病院関連各種会議への出席の状況は下表のとおり）

会議名	主たる議題	出席回数
病院マネジメント会議	業績、医療安全、COI、当局指摘対応、労務管理ほか	27回
医療安全管理委員会	医療事故報告、継続フォロー案件報告ほか	12回
病院監査委員会	外部委員会：医療安全体制に関するアドバイス	1回

	(規則第15条の4第1項第2号)	
病院監督管理委員会	外部委員会：予算執行及び管理運営の状況等 (規則第15条の4第1項第3号ロ)	1回

このほか、必要に応じて新型コロナウイルス感染対策本部会議に出席しており、本院の対策状況を確認している。また、経営協議会外部委員の意見により開始された「保険診療理解のための研修会」の実施状況を確認するため、令和3年4月以降のメディカルマネジメント委員会にも出席している。

このほか、「国立大学法人三重大学におけるコンプライアンスの推進に関する規程」によりコンプライアンス体制を整備しており、学長（開設者）がコンプライアンスに関する管理責任者として最終責任を負い、本学のコンプライアンスの推進を図り、公正・公平かつ誠実な業務の遂行を確保するため、コンプライアンス委員会を設置している。

- ・ 専門部署の設置の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 (  有 ・  無 )

- ・ 公表の方法

<https://www.mie-u.ac.jp/gakunai/kisoku/aggregate/catalog/index.htm>

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況            大学の理事会（本学においては役員会）とは別の会議体として、平成30年7月に「三重大学医学部附属病院監督管理委員会」を設置し、第2回を令和2年9月に開催した。            委員は5名でうち3名が外部委員（本学と利害関係のない者）となっており、点検・監督の結果は報告書にまとめ、役員会にて報告している。</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年1回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）（ 年1回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> <li>・ 公表の方法            本学ホームページに掲載</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：三重大学医学部附属病院監督管理委員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 ( を付す )	利害関係
尾西 康充	国立大学法人三重大学		<input checked="" type="radio"/> 有・無
大高 弘士	国立大学法人三重大学		<input checked="" type="radio"/> 有・無
佐藤 公治	日本赤十字社名古屋第二赤十字病院		有 <input checked="" type="radio"/> 無
山本 修一	国立大学法人千葉大学		有 <input checked="" type="radio"/> 無
西岡 慶子	株式会社光機械製作所	○	有 <input checked="" type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。



規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 ( 年 4 件 )</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 医療安全会議、リスクマネージャー会議、ヒヤリハットニュース等において、全職員に周知を図り、また、そのことが周知されたか否かについて、リスクマネージャーに再度確認を行っている。</li></ul>

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	①有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページでの情報発信のほか、医学系研究科・附属病院概要など各種広報誌の発行や公開講座の実施など、広く情報発信を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	①有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 がんセンター等で診療科間及び職種の枠を越えた連携によるチーム医療、集学的治療を推進している。また、本院において個々に展開されているチーム医療の機能を高め、チーム間の連携を強化することによって、診療のサポートをより効果的・効率的に行い、医療の質の向上に繋げることを目的としたチーム医療推進センターを設置しており、チーム医療の機能及び連携の強化を行っている。	